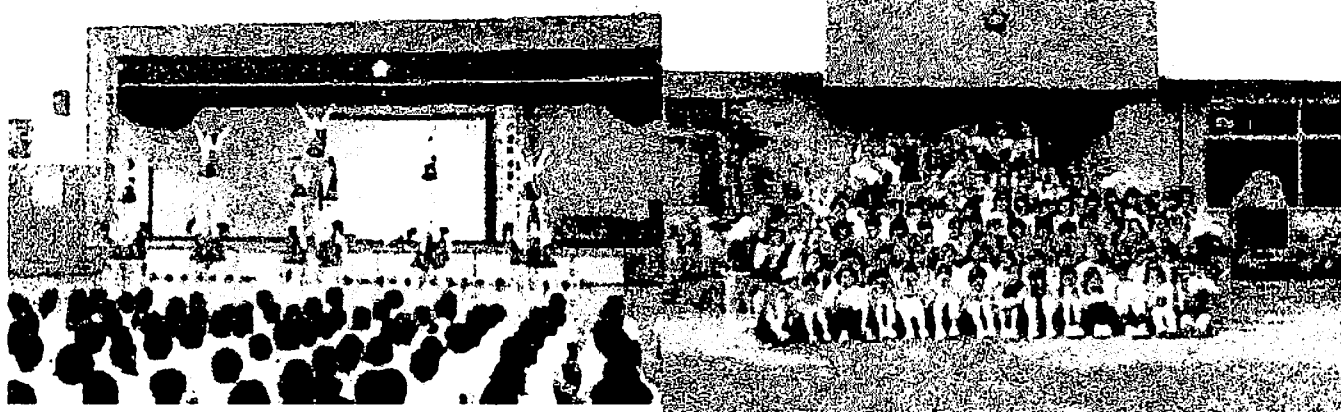
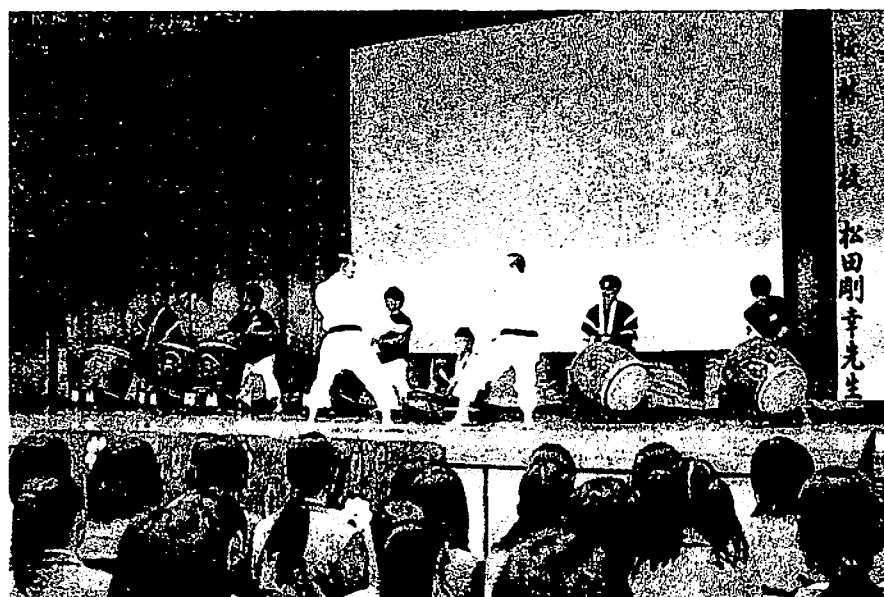


進路指導研究部会 提案資料

研究主題

「心身ともにたくましく、夢を抱き挑戦する生徒」
の育成を目指したキャリア教育のあり方
～夢を育む授業の効果的活用～



1 研究主題

「心身ともにたくましく、夢を抱き挑戦する生徒」
の育成を目指したキャリア教育のあり方
～夢を育む授業の効果的活用～

2 研究主題について

(1) 学校教育目標

心身ともにたくましく、夢を抱き挑戦する生徒の育成

① 夢を持って挑戦

- ・ 将来を思い描き前向きに努力する姿
- ・ 目の前の小さな目標の達成に向けて努力を重ねる。
- ・ 自己肯定感と高い知性
- ・ 夢を抱ききっかけとなる豊かな体験を意図的に設定する。

② 目指す生徒像

- ・ 明るく礼儀正しい生徒
- ・ 正義を尊び思いやりのある生徒
- ・ 粘り強く一生懸命に取り組む生徒
- ・ 目標を掲げ、達成に向けて前向きに努力する生徒
- ・ よく考え、主体的に学ぶ生徒

③ キャリア教育目標

- ・ 教員自身がキャリア教育への理解を深め、本校の教育にキャリア教育を根付かせていく
- ・ 「基礎的・汎用的能力」：キャリア教育で育成すべき能力等を意識した実践を学校の教育活動全体を通じて推進していく。
- ・ キャリア教育の教育課程への位置づけとキャリア教育年間計画の作成。
- ・ 各学年でキャリア教育を意識した実践。

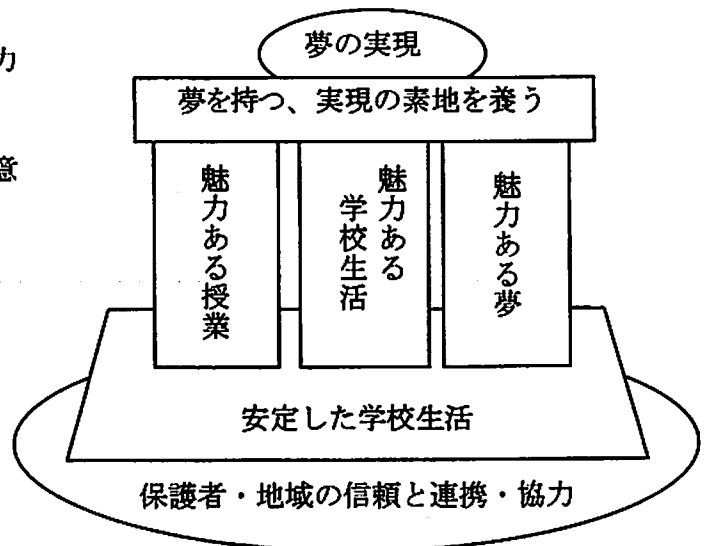
④ キャリア教育で身につけたい能力

- ・ 人間関係・社会形成能力
- ・ 自己理解・自己管理能力
- ・ 課題対応能力
- ・ キャリアプランニング能力

⑤ 各学年の目標

- ・ 1学年 自己をよく理解し、将来の進路への関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。
- ・ 2学年 自己理解を深め、学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、自己の進路について明確な希望や計画を吟味し、実現しようとする態度を養うとともに、情報の理解・選択・処理など課題対応能力を高めていく。
- ・ 3学年 自己の特性や希望する進路の情報を確かめ、自分にふさわしい職業や学校を自ら選択するとともに、その進路に適応し向上しようとする態度を養うとともに、「将来設計」などキャリアプランニング能力を高めていく。

【学校経営方針のイメージ図】



⑥各領域における指導内容

○各教科

- ・ 教科の目標や内容等の中に「基礎的・汎用的能力」を見いだして、その能力・態度の向上に努める。
- ・ 自分の興味関心、進むべき方向や生き方について考える契機とする。
- ・ 将来の生活や職業に必要な知識や技能を習得させる。
- ・ 教科の内容に関連する職業を意識した実践を行う。

○道徳

- ・ 人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
- ・ 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を目指し、集団生活の向上に努める。
- ・ 勤労の尊さ意義を理解するとともに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。

○特別活動

- ・ よりよい生き方について考えを深め、自己を生かす能力を養う。
- ・ 学級活動で計画的にキャリアに関わる内容を扱う。
- ・ 職業人講話や職業体験、夢を育む授業などの職業や進路に関わる啓発的な体験を行う。

○総合的な学習の時間

- ・ 様々な体験活動を通して、自己のあり方や生き方、夢の実現について考える力を身につけさせる。
- ・ コミュニケーション力を高め、問題の解決に対し主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

⑦<平成29年度キャリア教育年間指導計画> ※全学年、年間15時間

月	1年	2年	3年	行事等
4	「中学生としての自覚と心構え」 (2時間) ①さあ、中学生活のスタートです ②中学校で学ぶこと ③学級組織と自分の役割 ④学校行事と年間予定	「中堅学年としての自覚を深める」 (1時間) ①中学2年生、やりがいの1年	「最高学年になった自覚と決意」 (1時間) ①いよいよ中学3年生	<全>授業参観 保護者会 <3年>学力状況調査
5	「学習の目標と心構え」 (1時間) ⑤なぜ、わたしたちは学ぶのだろう ⑦いま、わたしたちが学ぶこと	「集団行動のきまりとマナーを見直す」 (1時間) ②毎日の学級生活を充実させよう ③集団生活の向上をはかるために	「集団行動のきまりとマナーを見直す」 (1時間) ②学級生活を充実させるために ③悩み、不安、ストレスの解消に向けて	<3年>修学旅行
6	「働くことの目的と意義を考える」 (1時間) ⑥なぜ、わたしたちは働くのだろう	「働くことの目的と意義を考える」 (2時間) ④なぜ、人は学ぶのだろう ⑤なぜ、人は働くのだろう	「進路学習、進路先調査」 (2時間) ⑩将来のために、いま学ぶこと ⑫職業について考えよう ⑬働くこと、そして生きること ⑭学習の進め方を確認しよう	<全>第1回定期テスト <全>授業参観 進路説明会 夢を育む授業① <2年>自然教室 <全>三者・保護者面談
7	「自分たちの生活を見直そう」 (2時間) ⑬学級生活を見つめよう ⑮健康で安全な生活をおくるために ⑯わたしたちの毎日と食生活	「職場体験の計画と準備」 (3時間) ⑫職業について考えよう ⑬将来をデザインしよう	「自己理解」 (1時間) ④自分の個性、友達の個性 ⑤地域・社会に生きる一員として ⑥男女が協力する社会	<全>三者・保護者面談
8				

9	「集団の一員として」 (1時間) ⑩地域に生きる一員として	⑥いま、学び方を考えよう ⑦健康で安全な生活を守るために ⑧わたしたちの習慣と規律ある生活	「進路選択」 (2時間) ⑬進路選択の準備をしよう	<全>体育祭 <全>第2回定期テスト
10	「職業調べ」 (1時間) ⑭ボランティアから生まれる新しい自分 ⑮職業について調べる	「適性と進路」 (1時間) ⑨進路情報を活用しよう ⑩卒業後のさまざまな学びの道 ⑪自分らしい進路を考えよう	「進路計画の最終検討」 (1時間) ⑯自分に合った進路先とは ⑰将来を見通した進路選択をしよう	<全>進路説明会 <全>音楽祭 <3年>三者面談
11	「1年生の悩み」 (1時間) ⑧わたしたちの悩みや不安 ⑩男子、女子…同じ?ちがう? ⑫思いやりの気持ちを育てよう	「職場体験を通して」 「職場体験を終えて」 (2時間) 「2年生の悩み」 (1時間) ⑭中学生活の真ん中で ⑮不安や悩みの解決に向けて ⑯自分らしさ。友だちらしさ。	「進路選択(決定)」 (2時間) ⑦豊かな人間関係をつくろう ⑧ボランティア活動、わたしはこう考える	<2年>職場体験 <3年>三者面談 <全>第3回定期テスト 夢を育む授業②
12	「自己理解」 (1時間) ⑨自分を知る、友だちを知る ⑩10年後の自分を考えよう ⑪自分を見つめ直そう	「集団の一員として」 (1時間) ⑩社会に生きる一員として ⑪男女の理解と助け合い ⑫思いやりから人間関係をつくる	「受験の心構え」(2時間) ⑨生涯を支える健康と安全 ⑩わたしたちの毎日と食生活 ⑪学習の悩みを解決しよう	<1, 2年>保護者面談 <1年>職業人講話 <3年>入試相談
1	「進路の計画1」 (2時間) ⑫将来の自分を考えよう ⑬自分の将来とお金について	「学ぶための制度と機会」 (1時間) 高校・高専の種類とその内容 や特色を理解する	「将来への準備と生活1」 (1時間) ⑭中学校生活、ラストスパ ート ⑮進路の悩みと上手に付き合 おう	
2	「進路の計画2」 (2時間) ⑫生き方いろいろ ⑬中学校卒業後の自分を考えよう	「進路設計の検討と吟味」 (1時間) ⑭1年後の自分を考えよう	「将来への準備と生活2」 (1時間) ⑮進路の最終決定をしよう	<全>入学説明会 授業参観 <3年>公立前期学力検査 <全>第4回定期テスト <1, 2年>標準学力テスト
3	「1年間の振り返りと進級に向けて」 (1時間) ⑭2年生になる自分	「1年間の振り返りと進級に向けて」 (1時間) ⑭最上級生になる自分	「卒業を迎えて」(1時間) ⑮未来を信じてはばたこう	<3年>公立後期学力検査 <全>予餞会、卒業式 <1, 2年>保護者会

丸数字・・・「中学生活と進路」該当題材

(2) 地域の実態及び保護者の状況

本校は四街道市の西に位置し、JR 四街道駅北方の商業地域、東関東道周辺の農村部及びその間の住宅地からなり、21世紀になり一層宅地化が進んでいる。開拓時代からの住民と新しく住むようになった住民が混在している地域である。駅に近い立地条件のため集合住宅等が多く、また自衛隊の宿舎があるため、生徒の転出入は比較的頻繁である。生徒数は市内では多い中規模校であるが今後は減少が見込まれている。

保護者や地域の方々は学校の教育活動に理解を示し、行事等の時には来校者も多く、特に昔からの住民の中には学校を積極的に支援してくれる方が多数いる。

家庭環境や保護者の考え方等の変化により、指導の難しい時期が度々あった。現在は大変落ち着いており、生徒主体の積極的な教育活動を展開しているが、学校・家庭・地域との連携を密にしていくことが他学区にも増して学校運営の成否を握る非常に重要な学区である。

(3) 生徒の実態と設定理由

本校は各学年180人前後、5クラスずつの中規模校である。本校の学区内には四街道小学校、大日小学校の2つの小学校があり、卒業生のほとんどが本校に入学している。学校全体は現在なんとか

落ち着いており、行事にも積極的に取り組んでいる。学習に関しては授業への取り組みも良い。しかし、学習への意識には学年差、個人差があり、家庭学習の方法や内容について学年ごとに具体的に指導し、また、家庭学習習慣の形成を図るため家庭学習帳を推進している状況である。進路学習については1学年で職業人講話、2学年で職業体験、3学年で進路学習・進路講話を実施しそれぞれ意欲的に取り組んでいる。

このように、現在は非常に落ち着き、生活態度も良好な生徒が多い本校であるが、数年前までは市内外においても有名な「荒れた」学校であった。将来への希望が持てない、毎日がつまらない、自己肯定感が低いという生徒が多く、その状態を打破したいと考え出された行事が「夢を育む授業」である。

全学年を対象に年に2～3回行っている本校の独自の行事である「夢を育む授業」のこれまでの実践の成果と今後の課題の考察を研究テーマとした。

3 研究の仮説

各学年のキャリア教育と「夢を育む授業」との効果的活用によって、生徒自らが自己肯定感を感じ、将来の夢や希望、目標を持ち、今を懸命に生きるために努力できるであろう。

4 研究内容

学年の実践

- | | |
|------|------------|
| 1 学年 | 職業人講話 |
| 2 学年 | 職業体験 |
| 3 学年 | 進路学習会・進路講話 |
| 全学年 | 夢を育む授業 |

1 学年 職業人講話

1 目的

- ① 進路学習（1年次）の学習のまとめとして、職業人の話を実際に聞くことで職業に興味・関心を深める。
- ② 職業人の話から、自分の将来を見つめ、中学生としての「学ぶこと」の意義を考えさせ、生活の向上を促す。

2 日時 毎年 2学期末 5, 6校時目

3 講師としてお話しいただく職業

- 1 新聞記者（2時間続き）
- 2 環境関係（Wind Power）（2時間続き）
- 3 コンピューター関係（ビックデータ）（2時間続き）
- 4 アニメ制作
- 5 ゲーム会社
- 6 消防士
- 7 栄養士
- 8 保育士

☆講師には、40分の講座（質問時間を含む）を2回開講していただく。

☆生徒には、受講講座の希望をとり、異なる2講座を受講するようにする。

1 講座の人数は25～27人とする

2 学年 職業体験

1. 目的

- ① 職業や進路の多様化に気づかせ、自分の将来設計を立てさせることにより、進路意識の向上を図る。
- ② 働く人のすがたが、職業によって様々であることに気づかせ、職業に対する視野を広めさせる。
- ③ 職業に対する理解を深め、自己を生かす進路決定の一助とする。

2. 実施日 11月下旬の2日間
3. 活動場所
主に四街道市内の各事業所(千葉市あり) ※自転車で行ける範囲 (別紙参照)
4. 参加人数 2学年生徒 177名
5. 事前の準備及び実施計画

- ①: 職員の仮担当職場割り振り <7月>
- ②: 各事業所との交渉(電話連絡)<7~8月>
- ③: 体験職場(事業所)決定 <9月>
- ④: 仮依頼文書提出 <9月上旬>
- ⑤: 生徒の希望調査・決定 <9月>
- ⑥: 事業所との職員打ち合わせ <10月中旬>
- ⑦: ソーシャルスキル学習・マナー学習<10月下旬~11月>
- ⑧: 事業所との生徒事前打ち合わせ <11月10日前後>
- ⑨: 職場体験事前指導 <11月23日>
- ⑩: 職場体験実施 <11月24・25日>
- ⑪: 事後の活動(反省・新聞作り完成・礼状発送) <11月~12月>

6. 職員分担

- ・全体計画、事業所検討……………
- ・アンケート集計・事業所決定 ……
- ・各事業所との折衝……………
- ・リーダー指導……………
- ・記録…………… 各担当者
- ・職場体験マナー指導……………
- ・礼状指導……………
- ・新聞指導……………
- ・会計……………

7. 職場体験までの予定

<p>【7~8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の仮担当職場割り振り決定 ・事業所選出・依頼
<p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員割り振り決定 ・事業所一覧作成 ・職場体験概要説明・希望アンケート実施 ・職場体験生徒割り振り決定
<p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験集会② (リーダー・副リーダー選出, 心構え) ・職員事業所挨拶回り・依頼書提出 ・職場体験のしおり作成・読み合わせ ・職場体験生徒割り振り決定発表 ・ソーシャルスキル指導・マナー指導
<p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所別打ち合わせ学習会1(仕事内容確認・事業所からの注意連絡・持ち物等) ・事業所別打ち合わせ学習会2(集合場所や注意点の確認) ・生徒事業所事前訪問(10日前後) ・学年事前指導(23日)

- ・ 職場体験当日(24日・25日)
- ・ 新聞・礼状作成
- ・ 礼状送付(12月前半)

職場体験学習のまとめ

良かった点

- ・ 職業や進路の多様化に気づき、自分の将来設計、進路意識の向上を図れた。
- ・ 働く人のすがたが、職業によって様々であることに気づき、職業に対する視野を広められた。
- ・ 朝早くになってしまって、先生方が大変だったが、集合時間の見回りの先生の分担があったので対処をしっかりとできた。
- ・ 老人ホームでは余興などをやらせていただいたので、お年寄りとも最初から距離を縮められた。
- ・ しおりの中に色々な内容が細かく載っていたので、やりやすかった。
- ・ ほとんどの事業所で生徒達は一生懸命取り組めた。
- ・ 事前打ち合わせアポイント取りなどでも、緊張しながらも役割を果たそうとする姿など、普段では経験できない体験ができた。
- ・ みんなで分担したので、一人あたりの仕事が多くなかった。
- ・ 電話の担当者がいたので、連絡がスムーズにできた。
- ・ 生徒に見合った職場で体験できた。

課題点

- ・ 新聞以外での発表の場もあった方が良かった
- ・ とても良い実習先ですが、千葉・佐倉もふくめた広範囲にわたっているので、もう少し近場での実習場所を多くできた方がいい。
- ・ 受入の確認を間違っていて生徒の体験場所を決定した後に変更しなくてはいけなくなりました。
- ・ 1日目の遅刻が多かったので、リーダーの指導だけではなく、全員での指導・確認をもう少し多く取った方が良かった。
- ・ 幼稚園や小学校は出身者を送ってあげる(送ったつもりであったがミスがあった)
- ・ 受入依頼を職員で行った後、生徒の事前打ち合わせの後にも職員から電話での再度の電話 or 直接もう1度行くなどした方が良かった。
- ・ 体験後に担当の先生の所に集まる機会を持った方が良かった。
- ・ 受入依頼を行う期限までに連絡をとっていない先生がいたようです。
- ・ 生徒が打ち合わせに行く前に、職員が電話だけではなく、職場に伺った方がよい。
- ・ しおりの読み合わせは全体で行ってほしい。

引き継ぎ内容

- ・ 行事の関係で「わろうべの里」は11月末は引き受けられない。
- ・ 借りた物の返却を明確にする(担当の先生の確認が足りなかった)
- ・ 移動時・体験時にお金がかかる場所もあるので、事前に生徒に伝える必要がある。
- ・ スイミングは水着を貸していただける。
- ・ 中学生に行わせる仕事が多く、無理に作っていただいている職場もあったので、その旨を引き継ぎ、次年度に判断を任せる。
- ・ 遠方のため交通費がかかることにクレームをいう生徒・保護者がいた。
- ・ 遠方の女子の派遣について、日没が早いので、危険との指摘があった。
- ・ 職場に当日職員が行く時間を連絡しておくことで生徒の良い写真が撮れるシーンが多くなる。(職場が時間調整をしてくれたり、いい時間を教えてくれる)
- ・ 電話当番・集合・解散時間の見回りは必要
- ・ 新聞の賞はやる気が出て、いいものが仕上がる。

C 3 学年 進路学習会・進路説明会

1. 目的
 - ・市内高等学校の先生の講話を聞き、進路選択の一助とする。
 - ・高校生活の一端を知り、現在の自分の中学校生活を見直す機会とする。
 - ・各高等学校の特徴を知り、今後の志望校選択の参考にする。
2. 日時 毎年 6 月上旬～中旬
3. 場所 四街道西中学校体育館
4. 講師
 - 千葉県立四街道高等学校 外山 信司 校長先生
 - 千葉県立四街道北高等学校 東城 孝 校長先生
 - 千葉敬愛高等学校 高岡 正幸 校長先生
 - 愛国学園大学附属四街道高等学校 吉田 英夫 校長先生
 - 県内公立・私立高等学校 ○○○○ 先生
5. 対象 第3 学年生徒全員と保護者
6. 内容
 - ・第1 回進路学習会：各高等学校の特色の紹介
 - ・第1 回進路説明会：今後の進路についての流れ
7. 事後指導
 - ・翌週以降の総合で、感想と礼状を書く

D 全学年 夢を育む授業

○授業を始めたきっかけ○

～平成23年 担当者が書いた保護者宛の文書から抜粋～

昨年、自分のこれからの未来を進んで切り拓き、中学生生活を充実したものにするために「夢」をテーマとした「夢を育む授業」を展開しました。最近の中学生を取り巻く社会ではさまざまな問題、痛ましい事件が発生し、夢を育みにくい環境にあると言えます。そこで夢を身近に感じ、一人一人「夢」を育もうという機会を設定しました。

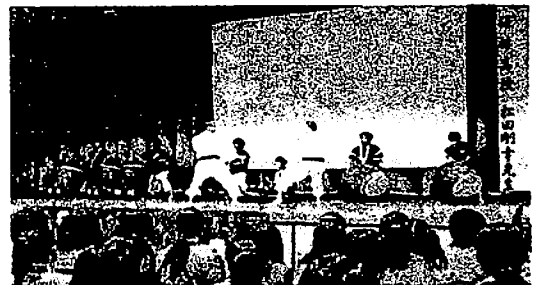
この授業を通して、少しでも目標や夢について考えていない中学生が前に向きな生き方に触れればと考えました。また、夢を抱いている中学生については「体験・体感」を通して、さらなる前進を期待しこの授業を設定しました。

～平成27年度保護者宛文書から抜粋～

本校は、自分の未来を進んで切り拓き、中学校生活を充実したものにするために「夢」をテーマとした「夢を育む授業」を展開してきました。

～当時の担当者のコメント～

自己肯定感・自己存在感の確保、自分に自信を持たせるための一助として夢を育む授業を導入した。(当時の担当者は前任校の四街道中学校で「夢を育む授業」を行い、本校に異動後推奨し現在に至る。)



夢を育む授業スタート 桜林高校「少林寺演舞和太鼓」

平成22年

桜林高校・少林寺拳法部・桜林高校松田剛幸先生を招いて、講義をいただきその中から「チャレンジ・アンド・チェンジ」をキーワードとして、「夢」について各自が考えるきっかけとする機会となりました。

夢を育む授業2「地球のステージ」国境なき医師団

平成23年6月6日 本校体育館

地球のステージとは、1996年1月15日よりはじまった、ライブ音楽と大画面の映像、スライドによる語りを組み合わせた、まったく新しいタイプの”非営利”「コンサート・ステージ」です。

世界で起きている様々な出来事を、講演形式ではなく、音楽と大画面のビデオ、スライドに写しだし、語りと曲で構成していく「映像と音楽のシンクロ」ステージです。全校生徒の中には、涙する生徒もいました。

夢を育む授業3

車イスバスケット・地上90センチの挑戦者達・千葉ホークス4選手の講演→資料①参照

平成23年7月15日 本校 体育館

夢、目標半ばでの挫折、困難を乗り越えての車イスバスケットへの挑戦は、現在の夢や目標を持たない生徒については、とてもよい刺激です。この授業を通しての「体験・体感」の経験は中学生のこの時期にはとても貴重なものとなりました。

夢を育む授業 4

歌う道徳歌手 大野靖之 を招いて

平成 23 年 12 月 10 日 本校 体育館

「大野靖之、命、夢、ライブ」では、本校の生徒全員に、今までの角度とは違った「夢育」を展開していただきました。人として、命の尊さ、親、兄弟の絆、母親に対しての思い、将来の自分の夢を自らの体験をトークと曲により、心に響かせて下さいました。



夢を育む授業 5

千葉明德高校・チアリーディング部 HOPPERS

平成 24 年 6 月 27 日 本校 体育館

JAPAN CUP 日本選手権 優勝! を目標とするチームです。

千葉明德高校、チアリーディングの生徒さん総勢 26 名が西中体育館を一瞬で、笑顔という花でいっぱいにしていただきました。チアリーディングでは、リフトの体験に多くの生徒、職員が参加しました。また、吹奏楽とのコラボ「勇気 100%」の曲の演奏、実演があり、本校の吹奏楽の生徒も達成感でいっぱいでした。西中全生徒に笑顔いっぱいの表情と勇気をいただきました。

夢を育む授業 6

日立高崎ソフトボール 大久保美佐選手、黒川はるか選手のソフトボール選手を招いての講演

平成 25 年 1 月 30 日 本校 体育館

諦めない心、仲間の大切さ、そして、感謝の気持ち、全てが実践されている両選手より、直接全校生徒に訴えた講演となりました。両選手とも四街道市内出身、大久保選手は本校卒業生。黒川選手は四街道中卒業生。自らの体験と後輩たちへのメッセージを発信しました。二人とも日本のエース上野投手とチームメート。



夢を育む授業 7

桜林高校「少林寺演舞和太鼓書道」「和」

平成 25 年 6 月 本校 体育館

夢を育む授業 8

斎藤裕貴監督 夢 映画視聴「隠れ鬼」

平成 25 年 冬 本校 体育館

「古都」制作を宣言し実現する

夢を育む授業 9

日本ユニシスバトミントン

遠藤大由 早川賢一 高橋礼華 松友美佐紀

平成 26 年 3 月 本校 体育館

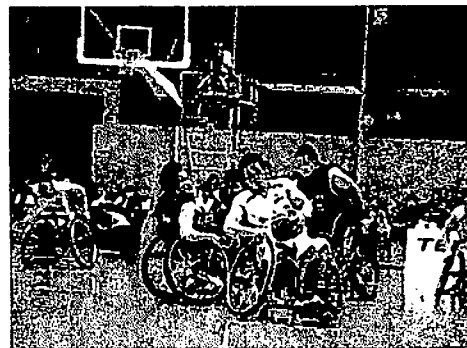
高松ペア 五輪金メダルを宣言し実現する

夢を育む授業 10

車イスバスケット・地上90センチの挑戦者達

千葉ホークス4選手の講演

平成26年6月 本校 体育館



夢を育む授業 11

夢を歌う オペラ歌手堀怜子さんの講演 (本校の平成9年度卒業生)

平成27年2月6日 本校 体育館

東北の震災の時も「うた」の力は大きく、多くの人たちを勇気づけ、元気づけました。今回は、「うた」をテーマとして、その「うた」に携わる職業のオペラ歌手に実際に歌い、語っていただき、「うた」のすばらしさと自分の「夢」を追い求める姿を感じとることのできる、価値ある授業となりました。



夢を育む授業 11

夢 和 笑顔 千葉敬愛高等学校マーチングバンド Graceful Spirit →資料②参照

平成27年6月19日 本校 体育館



夢を育む授業 12

大野靖之 夢・命・ライブ→資料③参照

平成28年1月18日 本校 体育館

今回の体験のお題

I Love You [尾崎 豊]



夢を育む授業13

国立極地研究所の研究員辻本恵さん→資料④参照

平成28年6月14日 本校 体育館

「夢がなくても人生は楽しい」という新しい概念を教えて頂いた授業
夢がなければダメだと考えていた多くの生徒に力を与えて頂いた

夢を育む授業14

石井正忠 監督 鹿島アントラーズ監督

平成29年3月6日 本校 体育館

夢を育む授業15

桜林高校 少林寺 和太鼓 書道 「夢～その夢を叶えるには」

平成29年6月5日 本校 体育館

学校法人金剛学園 桜林高等学校 副校長 松田 剛幸 先生

太鼓・少林寺・書道の実演は迫力ある演技で圧倒されました。

本校卒業生の吉田君・齋藤君の姿は生徒たちに夢と希望を与えてくれました。

5 成果と課題

○成果

- ・将来を見通して自分の生き方をみつめ夢を持って生きていける力がついた生徒が増えた。
- ・自分らしい生き方を見つけようとする生徒が増えた。
- ・仲間との人間関係を育てるためのコミュニケーション能力が身についた生徒が増えた。
- ・自己の生き方や平和の大切さについて考え、行動する能力が身についた生徒が増えた。
- ・社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成の一助となった。
- ・望ましい勤労観・職業感の育成の一助となった。
- ・主体的に進路を選択できる生徒が増えた。
- ・この授業を初めて5年後の平成26年度には比較的落ち着いた学校となった。

○課題

- ・マンネリ化してきているので、新しい講師の先生を開拓していきたい。
- ・講義形式の授業は多くあるが、動きのある授業を多くした方が集中するので、「体験型」を多く取り入れていく。
- ・アンケートなどで生徒の感想意見を取り入れて次に生かしていくことが今後は大切。
- ・現在も世界で活躍する生徒が在籍しているので、その生徒にも活躍の機会を作っていく。
- ・今後も長く続けていけるようにする。
- ・担当者の負担が大きいため、仕事を分担していく。

資料編

資料① 夢を育む授業で感じた思い（車いすバスケットを見ての感想）

努力の末につかんだ日本一。先月の授業で千葉ホークスの方々は、私たちに一人ひとりが夢に向かって努力する大切さを教えてくれました。実際に試合を見せてもらいましたが、とても迫力がありすばらしかったです。車椅子に乗ってシュートを体験した友達は「体が思うように動かなかった。」と言っていました。選手の皆さんは、今までにたくさんの困難を乗り越えてきたと思います。私も、困難を乗り越え。夢へと向かって挑戦していきたいと思います。

資料②千葉敬愛高等学校マーチングバンド Graceful Spirit 指導案

題材観

1、主題設定理由

人は理想を求めて自己の人生を切り拓いていく積極性と力強さをもつことが大切である。この理想を単なる夢にしないためには、理想の実現に向かって誠実に努力することが大切である。理想を求め、明るくいいきと生きる態度を育てることが自分の生涯を豊かにすることにつながると考える。

中学校に入学してから、生徒は、部活動や体育祭、合唱祭などの学校行事に取り組むなかで、達成感を得たり、困難にぶつかり悩んだりした。それらの部活動や行事を通して、集団の中で自分の役割を自覚して活動し、結果、自分自身を振り返ることで将来の目標を定める力になると思われる。日々の生活はもちろん、道徳の学習においても生徒に自己の人生を意識する機会を設けたい。

今年度は、同じ市内の千葉敬愛高等学校マーチングバンド Graceful Spirit を招いての「夢・笑顔・和」での実演、講話、インタビュー、体験の夢を育む授業を展開する。千葉敬愛高校は本校からの生徒が多く進学している。マーチングバンド部生徒のほとんどは、中学校校では吹奏楽部に所属していたが、中には、柔道部として在籍し、中学時代に輝いた実績もなく、進学後マーチングバンド部に入部して、挑戦している生徒もいる。現在の夢や目標を持たない生徒にとって、とてもよい刺激でもある。この授業を通しての「体験・体感」の経験は中学生のこの時期にはとても貴重である。

「夢に向かって、生きる」ことは素晴らしい。人間として、より良く生きるには、目標や夢を持つことが大切である。最近、その素地になる「夢を抱くことが困難である」と指摘されている。変化の激しい時代だからこそ、しっかりと夢や目標を持ちたいと考える。

一人ひとりの人間には、必ずその人固有の良さがある。その良さを生かして伸ばそうとする努力の積み重ねが、これからの自分の人間としての生き方を考えていく上で大切なことであり、それが夢や目標に結び付くものとする。また、これは生涯の課題であると思う。夢は必ず実現するとは限らない。しかし、継続して努力（＝向上心）することが大切であり、無駄になるものでないということをしっかりと噛み締めさせたい。

2、道徳との関連

学習指導要領 第2 内容(1) 主として自分自身に関すること。(2)より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。以上の内容に本授業の主旨は関連がある。

また、文部科学省の中学校学習指導要領平成20年3月告知による第3指導計画の作成と内容の取り扱い3の(3)先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、生徒の発達や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。新指導要領の内容にも大きく関わりがある。

3、学校教育目標との関連

学校教育目標「心身ともにたくましく、夢にむかって 何事にも挑戦していこう」

【目指す生徒像】

- (1) 明るく礼儀正しい生徒
- (2) 正義を尊び、思いやりのある生徒
- (3) 粘り強く、一生懸命に活動する生徒
- (4) 目標を掲げ、達成に向けて前向きに努力する生徒
- (5) よく考え、主体的に学ぶ生徒①目指す生徒像からの関連

学校目標との関連は、(4)の 目標を掲げ、達成に向けて前向きに努力する生徒という点である。

魅力ある夢 との関連

- (1) 夢を育む教育に積極的に取り組む

「夢を育む授業」を年間2回実施する

職場体験・職業人講話を通して将来の職業生活を指導する

学区小学生との直接交流事業を計画・実施する

- (2) 体験的な学校行事と日常の活動の充実に努める

旅行的行事の充実を目指す

体育祭・合唱コンクール・予餞会は、生徒による活動を保障する

部活動の充実を支える

4、本校の実態との関連

本校は、数十年前まで、「夢を育む授業」ということで、外部人材を活用した授業が展開されていた。落ち着いた学校を目指し、発展させていくためには、「心」の指導が不可欠といわれている。中学校はどのような授業をしているのか、授業実践で一番難しいのが道德である。各教科、現在、本校では、比較的各授業、多少の問題はあるにせよ落ち着いた授業が展開されている。今後、一步進んだ学校全体の姿勢として、「道德教育」をクローズアップさせ、全校規模で共通の方向性を持ちたい。

今後、発展的な指導としての「道德の授業」を検討していただく中で、今回の特別授業での「夢を育む」授業の指導的価値は高いものと考えている。また、全校道德をどのように活用し、発展させていくかは、学年、学級の指導の見せ所といえる。

本校は、四街道市の市街中心地のみならず、市外の農業、酪農、養鶏地、住宅地にも家庭があり、さまざまな家庭環境の中、さまざまな道德的価値観がある。また、小学校教育においても、四街道小学校では、自己肯定型の育成が必須の課題であると聞く。市内の中心的な大規模校においては、どうしても規範意識を全面に出す必要で、指導・注意の場面が多く、集団での活動が課題である。本校に於いても、全校集会での入場、退場については大きな課題である。指導・注意が全面にでてしまう状態では自己肯定型の集団育成にはつながらない。

また、本県の高校教育に於いても道德が重視される中、教科の学習指導という観点より、人間的教育の観点で、重要視される。将来的にも、自己肯定し、将来、未来を見すえた「夢」の教育は、必要不可欠、生徒自身にとっても大切なものと想定する。

5、指導計画

日時		
6月9日	35分間	「夢を育む授業」事前学習 ～「夢」について考える～ 全国的に活躍している生徒の紹介 〇〇〇〇 (3-6)佐倉シニア 〇〇〇〇 (3-5)フジスポーツクラブ VTR 視聴 千葉敬愛高等学校マーチングバンドGraceful Spirit 夢 和 笑顔 (仮テーマ)
6月19日	1時間	「夢を育む授業」1 千葉敬愛高等学校マーチングバンドGraceful Spirit 夢 和 笑顔 (仮テーマ) 講話・鑑賞・体験 帰りの会で、アンケート記入 放課後 評議員アンケート集計

資料③ 講師の紹介 大野靖之

1982年4月19日生まれ、千葉県印西市出身。中学の頃より独学でギター、ピアノ、作詞作曲をはじめ。音楽科の高校に入学し、声楽を学びクラシックの世界に触れるが、自分自身の言葉で歌うことと、自由な表現を貫くために、シンガーソングライターへの決意を固める。2005年7月、「心のノート／あいしてる」でメジャーデビュー。命、夢、家族といったテーマを歌う作風から、“歌う道徳講師”と呼ばれ、全国の小・中学・高校での学校ライブへと展開。これまでに回った学校は現在800校を超える。その功績が高く評価され、2008年7月、青年版国民栄誉賞グランプリ内閣総理大臣奨励賞を受賞。今までに平成23年度に開校された千葉県立我孫子東高等学校、平成27年度に開校された千葉県芝山町立芝山小学校の校歌を作詞作曲。さらに平成27年度に新設された千葉県印西市立牧の原小学校、平成28年度に開校される茨城県取手市立取手西小学校の校歌制作が決定。無事完成し、各教育委員会に承認される。平成28年度より開隆堂出版から出版される家庭科の教科書に歌詞が掲載されるなど、他に類を見ない、唯一無二な道を進み続けている。三年前本校の夢育の講師として来校した。

資料④ 夢がなくとも人生は楽しい

夢がありますか

6月14日に、国立極地研究所の研究員辻本恵さんをお招きして、『夢を育む授業』を行いました。14歳の私に聞かせたかった話として語っていただきました。

夢に向かってまっしぐら……ではない道もある

中学時代の私には、夢がありませんでした。

中学生の時に進路選択を迫られ、自分は何になりたいのか、何も思い浮かばなかったのです。このまま勉強を続けて、大学を出て、いい会社に入って、という人生に疑問を感じました。勉強はできたので、当たり前のように高校には進学。でも、勉強に対する大きな疑問を抱えたままだったので、成績は常に下の方、低空飛行を続けていました。この時点で、大学に行くという選択肢はありませんでした。

高校を卒業して、夢がないままにアルバイト生活。それでも20歳の時に、英語を学ぶために1年間アメリカに語学留学。でも、日本に戻ってからまたアルバイトをしながら過ごしました。

そんな私が少し変わりだしたのが、高校を卒業して3年目。バイト先の同い年の大学生が就職を目指す姿を見て、「自分は、このままでいいのかな？」と思い直したのです。とって、高校の勉強がすっかり抜け落ちてしまっている私は、日本の大学には入れない。そこで、アメリカの大学に進学することにしました。3年遅れの大学進学です。幸いだったのは、カレッジスクールとって、学生ばかりでなく、市民も一緒に勉強するような学校だったことと、学習内容が日本より少し遅れていて、日本の高校で習う内容が扱われたりしていたことです。それでも、語学の壁は厚く、初めの

頃は先生の言っていることがさっぱり聞き取れずに、泣いていたこともあります。

徐々に勉強も進み、カリフォルニア大学に編入。そこで学んだ講義を通して、生き物の面白さに目覚めました。山や海に出かけて動植物を観察し、それぞれの環境で生き延びていく生物固有の戦略を学びました。カリフォルニア大学在学中に、オーストラリアの大学に短期留学しました。あるとき、受講しようと思っていた講義が急に休講になり、代わりに受けたのが南極に関する講義だったのです。南極体験豊富な先生が、熱く南極について語ってくれました。これも、出会いだと思えます。

クマムシとの出会い

帰国後、現在の職場、国立極地研究所で技術補佐員をしていました。そのときに上司から借りたクマムシの本に刺激を受け、高温や乾燥など過酷な環境に耐える体長1ミリに満たない「小さな怪物」に魅せられ、研究に没頭するようになりました。これも出会いです。その後、クマムシを専門に研究を続け、2回にわたる南極滞在時に生息状況などを調査しました。

世界から注目を集めたのは、南極で採取したコケと一緒に30年間凍結保存されていたクマムシを蘇らせたことです。クマムシと目が合った気がして1〜2時間、顕微鏡をのぞいていたら、後ろ脚がピクッと動いたので、興奮しました。日本はもちろん、海外メディアの取材も相次ぎ、その反響に驚きました。

回り道したかもしれませんが、悩みながらやりたいことをやってきて、その経験を生かせる仕事に就けているのが不思議です。

夢を叶えるキーワード

夢がないとダメなの？ → そんなことない!!!

今夢が見つかっていなくてもだいじょうぶ。でも、見つかった方が楽しいよ。

夢を見つけるには夢を叶えるには

- ①自分に正直になる①自分に自信を持つこと
- ②好きなことをやってみるポジティブな言葉を投げかける。You can do it!
- ③得意なことを続けてみる②情熱を伝える
- ④とりあえずやってみる、伝えると、助けてくれる人が必ずいる。

つまりいたら

- ①人間は誰でもつまづく
- ②次のチャンスは必ず来る
- ③焦らない、頑張らない、欲張らない←調子が悪いときの三原則

(6月14日『夢を育む授業』の講演記録に、辻本さんからいただいた補足を付け加えて構成しました。)

夢があったらますます楽しい

平成29年度

印教研進路指導研究部教育研究集会



平成29年8月17日

印西市立西の原中学校

名池 輝男

- 1 【研究主題】 『将来職業に就くために、必要な力を身につけ個性豊かな生徒の育成』
～A I やロボットに負けないような力をつけていく取り組みについて～
- 【学校教育目標】 『社会に対応し 心豊かにたくましく 生きる若者の育成』
- 【進路指導目標】 『進路指導は生徒の自己実現のための能力・資質を育成することを最終目標としている。そのため次のことを重点目標とする』
- (1) 共に生きる社会を実現するための価値観の基礎を形成し、他者との関わりの能力を育成する。
- (2) 夢や希望を持ち、将来それを実現するために、自己理解、他者理解を深め、社会人として必要な能力を養う。
- (3) キャリア教育を通して発達段階に即した将来への展望を持たせる。
- 【キャリア教育目標】 『自己の個性を理解し、将来社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身につける』
- ① 肯定的自己理解と自己有用感を感得する。
- ② 興味・関心等に基づいた職業観・勤労観を身につける。
- ③ 進路計画を立案し、現時点で適切な進路選択ができる。
- ④ 発達段階に即した将来の生き方や進路について考え、世の中の時代の流れをつかみ探求ができる。

2 はじめに

近年、コンピューターやA I（人工知能）の発展がめざましく、6月末に野村総合研究所から発表された試算によると、現存する職業のうちの約65%は人手がいらなくなるとされて話題になった。生徒たちが将来就きたいと思っていた仕事が、コンピューターやA I に取って代わられる可能性が大いにある。最近のニュースをみていると、政府で初めて(経済産業省)HRテクノロジー(Human Resource Technology)という、人材育成や労務管理をA I に置き換える動きがある。人の能力を数値化し、曖昧だった社員の評価を、A I が査定や人事配置までも行っていく「はたらき改革」が行われている。

いまやA I やロボットを導入した企業がほとんどとなり、その職業の中で人間とA I との関わりを考えていかなければならない。

3 研究主題について

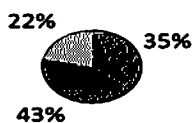
近年の世の中の変化のスピードは増すばかりで、インターネットやSNSの普及で、手軽に多くの情報を手に入れることが容易になった。このことで、生徒の中にはインターネットやSNSで他人の体験を見たり聞いたりして知識を得ただけで、何でも理解したような気持ちになってしまうことが多いような気がする。実体験が少ない上に、新たな体験も親の協力なしではやりたがらず面倒くさがる傾向がある。アンケートの結果からも、これから身につけなければいけないものに、知識・学力がトップになっている。もちろん知識を身につけ、学力を高めることは大切である。しかし知識や学力だけでは、コンピューターやA I に代替えされない職業、つまり人だからこそできる職業につくための能力は身に付かない。知識や学力をつける他に、人だからこそできる職業（おもにクリエイティブな職業、マネジメント的職業、ホスピタリティの必要な職業）に必要な能力は、相手の気持ちを想像する力や共感的なコミュニケーション能力、臨機応変な判断力、心からの優しさや思いやりである。どんなに世の中が変化しても、人間同士の関わりの中で様々な体験をし、互いに助けたり助けられたりすることで信頼関係や思いやりの気持ちを持つことの大切さは普遍的なものであるということを理解させ、将来に向けた望ま

しい職業観を形成したい。そしてそれらを身につける大切な時期である中学生時代を有意義に過ごして欲しいと考え、このテーマを設定した。

4 アンケート結果(対象37名)

①将来のつきたい職業は決まっていますか？

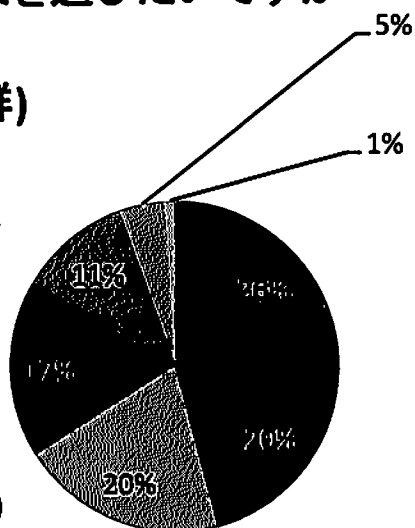
- ア、決まっている(13人)
- イ、決まっていないが、何となく希望はある(16人)
- ウ、決まっていない(8人)



②どういう基準で職業を選びたいですか

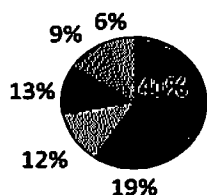
- ア、収入が多い(28人)
- イ、長く続けられる(22人)
- ウ、自分の好きなことや得意なことを生かす(22人)
- エ、私生活と両立できる(19人)
- オ、世の中に役立つ、人を助ける
- カ、自分が成長できる(5人)
- キ、世の中の注目を集める(1人)

(A群)



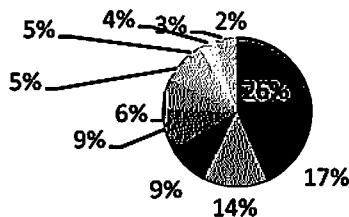
②どういう基準で職業を選びたいですか (B群)

- ア、人と接する(13人)
- イ、体を使う(6人)
- ウ、物作りに関わる(4人)
- エ、コンピュータ関係(4人)
- オ、物作りに関わる(3人)
- カ、文章や作品を作る(2)



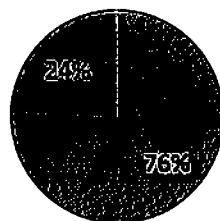
③将来、職業につくために、今自分が身につけなければいけないことは何だと思えますか

- | | |
|------------------|----------------------|
| ■ ア、知識・学力(28人) | ■ イ、コミュニケーション能力(19人) |
| ■ ウ、集中力(15人) | ■ エ、体力(10人) |
| ■ オ、計画性(10人) | ■ カ、忍耐力(7人) |
| ■ キ、優しさ・思いやり(5人) | ■ ク、自主性(5人) |
| ■ ケ、協調性(4人) | ■ コ、想像力(3人) |
| ■ サ、まじめさ(2人) | |



④AI(人工知能)ということばを聞いたことがありますか

- ア、はい(28人) ■ イ、いいえ(9人)



5 研究仮説

- (1) 5年後、現在の現存する職業のうち約65%は人手がいなくなるならば、将来生徒たちが就きたいと思ってい仕事かどのように変化することを予想することで、より現実的に身近な職業について考えることができる。
(世の中の変化の察知)
- (2) 自己の将来に希望を抱き、その実現に向け現在の生活や学習を振りることにより、これからの自己の生き方・働き方などについて考え、判断し、実践していけるようにする。
(自己理解)
- (3) 世の中が大きく変化していく中で、AIやロボットに負けないような力をつけるために、人間同士の関わりの中で様々な体験をし、互いに助け合って信頼関係や思いやりの気持ちを持つことの大切さを知ることにより、将来に向けた望ましい職業観が形成される。
(AIやロボットに負けない力)

6 年間計画（特別活動・総合的な時間）

月	学 習	進 路	キ ャ リ ア	1 学年	2 学年	3 学年
4	○			学習方法について	学習方法について	学習方法について
5	○			学習計画	学習計画	学習計画
6	○	○	○	自分を知ろう 将来の夢と希望 学習計画・学習方法の見直し	将来の生き方と学習 働くことの目的と意義・職業の世界 進路コンパス 学習計画・学習方法の見直し	第1回進路説明会 (高校の先生を招いて) 進路計画を立てる 学習計画・学習方法の見直し
7	○	○	○	夏休みの学習計画	夏休みの学習計画 進学(高校)調べ	夏休みの学習計画 高校訪問計画を立てよう 希望校調査 三者面談
8			○		職場体験学習事業所依頼	高校説明会・体験学習参加
9	○		○	学習計画・学習方法の見直し	学習計画・学習方法の見直し 職場体験に向けての準備	学習計画・学習方法の見直し 高校説明会・体験学習報告会
10		○	○	働く人々のすがた	職場体験に向けての準備	進路計画決定に向けて 第2回進路説明会
11	○		○	学習計画・学習方法の見直し 働く人々の仕事と考え	学習計画・学習方法の見直し 職場体験学習 将来職業に就くためには・・・ (AIやロボットに負けない力・・・)	学習計画・学習方法の見直し 三者面談
12		○	○	職場体験学習報告会参加	職場体験報告会発表	進路決定のために(面接・作文・ 願書の記入・学習方法の見直し)
1						入試指導
2		○		進路計画の必要性・立て方 学習計画・学習方法の見直し	自分の適正・自分の進路 学習計画・学習方法の見直し	自分を見つめる(将来の生活 への心構え)
3		○		卒業生から学ぶ会	卒業生から学ぶ会	入試を終えて(3年生から 1・2年生へ)

7 研究の実践

本校では、1年生で、「中学生活と進路」の教科書を中心に授業をすすめ、職業について、働くこと、そして生きること、どのような職業があるのかを考えさせたり調べさせて掲示したり発表させたりしている。2年生より、より職業の世界を深めさせ、将来職業に就くために必要な力は何かを考えさせる授業を行っている。AIやロボットに負けない力をつけていく授業のあり方について研究し、将来の職業につなげていけるように試行錯誤しながら行っている。3年生では、進路について深く掘り下げ、具体的な進路を決定知ると共に、将来の夢の実現に向けて目標を設定し、それを実現するための生活設計の立て方など行っている。

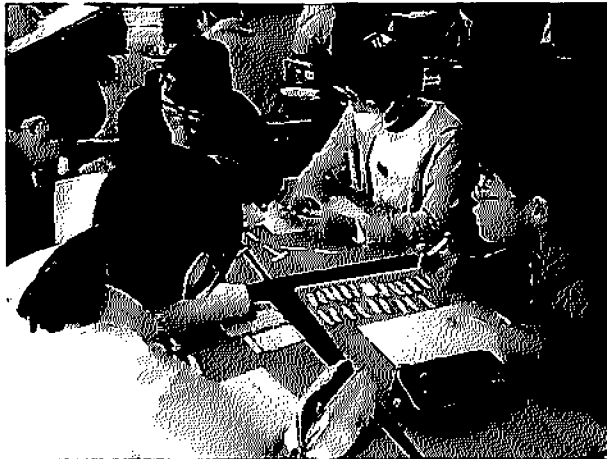
生徒の発達段階（成長段階）で、小学校との連携、高校との連携はまだ不十分なので、資料3の「将来就きたい職業」を参考に、資料1・資料2に示す授業展開『将来職業に就くために、必要な力は何かを考えよう』～AIやロボットに負けない力をつけよう～の授業実践を行った。



[写真1] 班で話し合い、人にしかできない職業、AIやロボットに替わるような職業を考える。



[写真2] 職業を考え出し、カードに記入。



[写真3] カードを切って分類

- ・ 人間にしかできない職業
- ・ AIやロボットに替わる職業



[写真4] 職業は大きく3つに分かれる。

- ・ クリエイティブな職業
- ・ マネージメント的な職業
- ・ ホスピタリティーが必要な職業

8 成果と課題

- (成果)・授業を通して、AIやロボットの進化(発展)によって大きく世の中が変化していくことに気づくことができ、新聞を毎朝、隅から隅まで読んで登校する生徒も現れてきた。
- ・ 生徒たちはなかなか将来の夢や希望を語ろうとしないが、5年後の現存する職業のうち65%は人手がたらなくなる職業を、一生懸命考え出し、仲間と積極的に議論を交わしながら予想することができた。
 - ・ 「進路」という重苦しい雰囲気はなく、自分のことより世の中のこと、他人のことも考えて発言していたので、無責任かもしれないが言いたいことを自由に発表して、理想の職業を導き出そうとしていた。(無責任とは、誰かがAIやロボットを開発して思い通りにできること。)
 - ・ 2000年の東京オリンピックで職業に変化が見られることを予想することができ、さらに職業の世界に新しい職業が生まれ、選択肢が増えることを予想する生徒が現れてきた。
 - ・ 自分の将来を真剣に考える生徒が増え、その実現に向け現在の生活や学習スタイルを見直し、これからの生き方について考え、普段の学校生活の活動の中でいろいろと積極的に取り組み生徒が増えた。

- (課題)・5年後の予想が、「当たっていた」「当たっていなかった」ではなく、5年後の職業に、希望や夢を与える授業展開になりように注意が必要である。
- ・AIやロボットに頼ることが多くなる時代となったが、機械に操られない、機械は一つの道具としてとらえ、人間らしさを大切にしたい信頼関係や助け合い、協力、思いやりなど、もっと強調して捉えていきたい。
(資料3の『将来なりたい職業』の中で、ITエンジニア・プログラマー・YouTubeなどの動画投稿者などが増えているが、個人で行う仕事が多くなり人と人とのつながりの気薄さや自分だけでよければよい職業にならないように注意する。自分の能力を知り、無理をさせないように注意する)
 - ・昨年からはじめた研究なので、改善の余地が幾つもあります。発達段階に応じてこの授業を2年生に設定して行いましたが、1年生との3年生との兼ね合いや、小学校と高校の連携など課題は多い。
 - ・教師サイドで、常に研修を行いながら授業実践を行うとともに、生徒よりも世の中(社会)の変貌をいち早く察知し、確かな情報を集約しながら生徒たちに情報を提供していかないといけないので教材準備がとても大変であり、先生方でチームを組んで取り組んでいかなければならない。
 - ・自分自身が将来職業に就くために、共通して必要な能力があるということに気付かせていきたい。
 - ・その能力を身につけるために、中学校生活を大切にしていこうという気持ちを育んでいきたい。
 - ・将来職業に就くために、必要な力は何かを考えさせるキャリア教育のあり方を今後も研究し、AIやロボットに負けない力をつけていけるような人間育成をしていきたい。

参考文献

- キャリア教育とは何か(文部科学省)
- 次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(素案)のポイント
(中央教育審議会・教育課程企画特別部会)
- 「将来なりたい職業」ランキングトップ10集計結果(日本FD協会・ソニー生命(株))

資料

- (資料1)・・・資1～資5 学級活動指導案
- (資料2)・・・資6 中学生の人気職業・就業者数の多い職業
- (資料3)・・・資7 小学生・中学生・高校生の
「将来なりたい職業」ランキングトップ10
- (資料4)・・・資8～資9 次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ
(素案)のポイント

仕事の半分「AI・ロボットで可」

ロボットなどへの代替可能性が
高い職業と低い職業

高い	低い
一般事務員	医師
レブ係	学校教員
警備員	研究者
タクシー運転手	格闘家
銀行窓口係	職業バレーボール選手
受付係	職業サッカー選手
ホテル客室係	職業バスケットボール選手
路線バス運転手	職業レスリング選手
建設作業員	職業柔道選手
スーパー店員	職業相撲力士

※並の代替可能性とは無関係

職業の選択肢 狭まる可能性

調査は、野村総研と英才
調査は、野村総研と英才

調査は、野村総研と英才

10～20年後野村総研の調査

調査は、野村総研と英才

2016年10月26日(木)の新聞

(資料1)

第2学年1組 学級活動指導案

指導者 後藤 幸枝
展開場所 2年1組教室

1 題材名 「将来職業に就くために、必要な力は何か考えよう」

～AIやロボットに負けない力をつけよう～

内容(3) エ 望ましい勤労観・職業観の形成

2 題材について

(1) 生徒の実態

男子19名(特別支援学級生徒1名含)・女子19名の38名の学級である。本学級の生徒は、能力的にも性格的にもばらつきがあり、個性豊かな生徒が多い。特に男子には、その傾向が顕著である。運動が得意で体育祭や合唱コンクールなどの行事には熱心に取り組むが、学習には目が向かない生徒がいる。一方で、知識は豊富で自分の利益になる事には関心が高いが、それ以外のことには意義を見いだせない生徒もいる。また、これといった自分の考えを持たず、何事も周囲の人間に任せ、流れに乗っているだけの生徒など、さまざまである。女子はまじめにコツコツ取り組む生徒が多いが、今現在の楽しみを優先し、感じたことをすぐに言葉に出し、周囲を驚かせる生徒もいる。まじめな女子の中にはそういう個性豊かな生徒に押され、自分の意志をきちんと伝えられない生徒も多い。そんな個性豊かな面々が将来にむけて、今自分に足りない力、身につけなければいけない力は何かを見つめ、互いの良い面を吸収し合いながら成長できる集団にしたい。

(2) 主題設定の理由

中学2年生になって進路への関心は少しずつ高まり始めた。また職場体験では、身近な職業に触れ、働くことの意義や大変さを感じる事ができたように思う。しかし、アンケート結果からわかるように、まだはっきりした進路希望が決まっている生徒はまだ少ない。将来の自分と中学生である今の自分は別物ではなく、今の自分の延長線上に将来の自分があるということを、まず気付かせたい。長く続く仕事の要素として一般的に言われているのは①自分の得意なこと②自分の好きなこと③社会的需要があること、と言われている。その点では、仕事を選ぶ基準の中で、自分の得意なことや好きなことを生かし、長く続けられる仕事をしたいと考える生徒が多いことがわかる。

しかし、近年、コンピューターやAI(人工知能)の発展がめざましく、昨年末に野村総合研究所から発表された試算によると、現存する職業のうちの半数近くは人手がいらなくなるとされて話題になった。生徒たちが将来就きたいと思っていた仕事が、コンピューターやAIに取って代わられる可能性が大いにある。

一方、近年の世の中の変化のスピードは増すばかりで、インターネットやSNSの普及で、手軽に多くの情報を手に入れることができるようになった。このことで、生徒の中にはインターネット

やSNSで他人の体験を見たり聞いたりして知識を得ただけで、何でも理解したような気持ちになり、実体験が少ない上に、新たな体験も面倒くさがる傾向がある。アンケートの結果からも、これから身につけなければいけないものに、知識・学力がトップになっている。もちろん知識を身につけ、学力を高めることは大切である。しかし知識や学力だけでは、コンピューターやAIに代替えされない職業、つまり人だからこそできる職業につくための能力は身に付かない。知識や学力をつける他に、人だからこそできる職業（おもにクリエイティブな職業、マネージメント的職業、ホスピタリティの必要な職業）に必要な能力は、相手の気持ちを想像する力や共感的なコミュニケーション能力、臨機応変な判断力、心からの優しさや思いやりである。どんなに世の中が変化しても、人間同士の関わりの中で様々な体験をし、互いに助けたり助けられたりすることで信頼関係や思いやりの気持ちを持つことの大切さは普遍的なものであるということを理解させ、将来に向けた望ましい職業観を形成したい。そしてそれらを身につける大切な時期である中学生時代を有意義に過ごして欲しいと考え、この題材を設定した。

アンケート結果（対象37名）

①将来のつきたい職業は決まっていますか？

- ア、決まっている（13人）
- イ、決まってはいるが、なんとなく希望はある（16人）
- ウ、決まっていない（8人） → なぜ決まっていないのですか？
 - 自分が何に向いているかわからない（7人）
 - 仕事につきたくない（1人）

②どういう基準で職業を選びたいですか？

A次から3つ

- ア、収入が多い（23人）
- イ、長く続けられる（22人）
- ウ、自分の好きなことや得意なことを生かす（22人）
- エ、私生活と両立できる（19人）
- オ、世の中の役に立つ、人を助ける（12人）
- カ、自分が成長できる（5人）
- キ、世の中の注目を集める（1人）

B次から1つ

- ア、人と接する（13人）
- エ、体を使う（6人）
- イ、物作りに関わる（3人）
- ウ、事務仕事（4人）
- オ、文章や作品を作る（2人）
- カ、コンピューター関係（4人）

③将来、職業につくために、今自分が身につけなければいけないことは何だと思いますか？（3つ）

- ア、知識・学力（28人）
- イ、コミュニケーション能力（19人）
- ウ、集中力（15人）
- エ、体力（10人）
- オ、計画性（10人）
- カ、忍耐力（7人）
- キ、優しさ・思いやり（5人）
- ク、自主性（5人）
- ケ、協調性（4人）
- コ、想像力（3人）
- サ、まじめさ（2人）

④ AI（人工知能）という言葉聞いたことがありますか？

ア、はい (28人) イ、いいえ (9人)

3 学級活動(3)の本実践における評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くこと等に関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方・働き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

4 本題材のねらい

- 自分自身が将来職業に就くために、共通して必要な能力があるということに気付かせる。
- その能力を身につけるために、中学校生活を大切にしていこうという気持ちを育む。

5 事前の活動

時配	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
2時間	自分の適性を知る	進路コンパスの質問内容に直感的に答えるようにして、結果を意図的に操作させない。	【知識・理解】 自己の能力や適性を客観的に知ることができる(観察)
2時間	職業の世界について考える	職業と産業の違いに留意する。どんな仕事も世の中にとって必要な仕事であることを押さえる。	【知識・理解】 職業と産業の違いや世の中に様々な職業があることを理解する(観察)(学習シート)
3時間	職場体験学習 事前準備	事業所によって、行き方、体験内容が違うので、ひとり一人が確実に理解できるようにする。	【関心・意欲・態度】 自主的に自分の体験する内容や行き方について調べる。(観察)(学習シート)
2日間	職場体験学習	交通事故、体験中の事故に注意する。どんな体験にも積極的に取り組み、挨拶、マナーなどに気をつけ、失礼のないようにする。	【思考・判断・実践】 自分の体験する内容に興味を持ち、積極的に実践する。(観察・事業所からのアンケート)
2時間	事後レポート・	なるべく具体的なできごとを書く	【思考・判断・実践】

	お礼状作り	ことによって、自己の取り組みを振り返らせる。受け取った方が嬉しくなるような感謝状にする。	事業所の方の立場に立って、心のこもったお礼状が書ける。(観察)
--	-------	--	---------------------------------

6 本時の展開

(1) 本時の活動のテーマ

「将来職業に就くために、必要な力は何か考えよう」

～AIやロボットに負けない力をつけよう～

展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 10分	1 本時の活動の課題、流れについて説明を聞く。 2 本時の課題を確認する。	AIやロボットが今以上に社会に進出する近い将来について考えさせる。 将来職業に就くためには、今から準備が必要であることに気付かせる。	・車の自動運転、ネットショッピングの普及等について思い起こす。 ・本時の課題について興味を持つ。
活動の展開 25分	3 グループの話し合い ①中学生の人気職業や就労人口の多い職業の中で人にしかできない職業、AIやロボットに替わられる職業に分ける。 ②人間にしかできない職業に必要な力は何か考える。	話し合いがうまくいかないグループには助言する。	・カードを使って、職業を分類する。またそうなる理由についても話し合う。 ・人間にしかできない職業には創造力やコミュニケーション能力(表現力)、思いやり、判断力などが必要であることに気付く。
	4 発表	理由を含めて、話し合いの結果を発表させる。他の班の発表を自分の班の内容と比較しながら聞くように促す。	・他の班の発表を聞き、自分の考えを深める。
	5 全体の話し合い	AIやロボットに替われない	・発表された職業に必要な能

	人間にしかできない職業を傾向が似ている職業のグループに分ける。	職業は大きく3つに分けられる(クリエイティブな職業・マネジメント的な職業・ホスピタリティが必要な職業)ことを説明する。	力の共通点を見いだす。
活動のまとめ 15分	6 まとめ これらの能力をつけるために、今やらなければいけないことは何か考える。 7 自分の考えを友だちに伝える 8 教師の話聞く	それぞれの職業に就くために、今から身につけるべきことは何か考えさせる。 数名に発表させ、意見を共有させる。	【関心・意欲・態度】 学校生活に前向きに取り組み、仲間との関わりの中で、想像力や思いやり、コミュニケーション能力、判断力をつけていかなければいけないことに気づく。(観察)(学習シート)

7 事後の活動

日時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
11月	職場体験発表会	講師の話や他の事業所での体験を聞き、自分の体験と比較させる。	【思考・判断・実践】 自分の体験と講師の話や他の事業所の発表を比較しながら聞くことができた。 (学習カード)

(資料2)

中学生の人気職業・就労者数の多い職業(授業ではカードにして使用)

通訳	ホームヘルパー	銀行窓口	警察官
タクシー運転手	僧侶	金融ディーラー	美容師
システム・エンジニア	エステティシャン	臨床心理士	建築家
介護職員	ビル清掃員	ファッションデザイナー	アニメーター
自動車整備士	歯科衛生士	プロスポーツ選手	薬剤師
警備員	イベントプランナー	ゲームクリエイター	大工
調理師	スーパー店チェッカー	ツアーコンダクター	作家
機械組立工	洗濯工	パティシエ	獣医師
娯楽接客員	テレビディレクター	公務員	納棺士
溶接工	ネイルアーティスト	医師	声優
自動車外交販売員	秘書	保育士	グラフィックデザイナー
理学療法士	栄養士	イラストレーター	ブライダルコーディネーター
バス運転手	速記者	グランドホステス	歌手
作業療法士	スポーツ審判員	編集者	映画監督
給仕従業者	翻訳家	消防士	ナニー
保険外交員	貨物自動車運転手	看護師	幼稚園教諭
トリマー	中学校教師	アナウンサー	自衛隊
動物園の飼育係	スタイリスト	シェフ	エンジニア
カメラマン	税理士	芸能マネージャー	絵本作家
芸人	画家	スポーツトレーナー	トラベルコーディネーター
インテリアプランナー	建設作業員	郵便配達員	マンション管理人
牧師	ペンション経営	パイロット	駅長
漁師	ワープロ・オペレーター	新聞記者	経理事務職員
ブローカー	観光バスガイド	弁護士	プール監視員

(資料3)

小学生「将来なりたい職業」ランキングトップ10 (2016年5月2日～10月31日実施)

*日本FD協会アンケート集計結果(全国:男子児童1692名, 女子児童1914名)

男子児童

女子児童

順位	職業	%	順位	職業	%
1位	サッカー選手・監督など	11.0	1位	保育士	6.9
2位	野球選手・監督など	8.7	2位	医師	6.1
3位	医師	6.1	3位	パティシエール	5.7
4位	ゲーム製作関連	4.2	4位	看護師	5.0
5位	建築士	2.8	5位	薬剤師	3.8
6位	バスケットボール選手・コーチ	2.7	6位	獣医	3.7
7位	教師・教員	2.4	7位	教師・教員	3.6
8位	警察官・警察関連	2.3	8位	デザイナーファッション関連	3.5
8位	水泳選手・コーチ	2.3	9位	美容師	3.1
10位	テニス選手・コーチ	2.2	10位	幼稚園教諭	2.3

中学生「将来なりたい職業」ランキングトップ10 (2017年3月21日～27日実施)

*ソニー生命(株)アンケート集計結果(全国:男子100名, 女子児童100名)

男子生徒

女子生徒

順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	24	1位	歌手・俳優・声優などの芸能人	19
2位	ゲームクリエイター	20	2位	絵を描く仕事(マンガ家・イラストレーター)	14
3位	YouTubeなどの動画投稿者	17	3位	医師	13
4位	プロスポーツ選手	16	4位	公務員	11
5位	ものづくりエンジニア(自動車設計など)	13	5位	文章を書く仕事(作家・ライター)	10
6位	公務員	11	6位	保育士・幼稚園教諭	9
7位	学者・研究者	10	7位	教師・教員	8
7位	社長などの会社経営者・起業家	10	7位	ゲームクリエイター	8
9位	教師・教員	9	9位	デザイナー(ファッション・インテリア)	7
9位	医師	9	10位	YouTubeなどの動画投稿者	6
			10位	マスコミ関係(記者・テレビ局スタッフ)	6

高校生「将来なりたい職業」ランキングトップ10 (2017年)

*ソニー生命(株)アンケート集計結果(全国:男子400名, 女子400名)

男子生徒

女子生徒

順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	20.8	1位	公務員	18.8
2位	ものづくりエンジニア(自動車設計など)	13.8	2位	看護師	12.8
3位	ゲームクリエイター	12.5	3位	歌手・俳優・声優などの芸能人	12.5
4位	公務員	11.8	4位	教師・教員	10.8
5位	学者・研究者	9.5	5位	絵を描く仕事(マンガ家・イラストレーター)	9.8
5位	運転手・パイロット	9.5	6位	保育士・幼稚園教諭	8.8
7位	教師・教員	7.8	7位	カウンセラーや臨床心理士	8.5
7位	会社員	7.8	8位	デザイナー(ファッション・インテリア)	7.5
9位	プロスポーツ選手	7.3	9位	学者・研究者	5.8
10位	YouTubeなどの動画投稿者	6.8	9位	会社員	5.8

次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめ(素案)のポイント

改訂の基本方針

- 教育基本法や学校教育法が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たち一人一人に確実に育む学校教育を実現。

“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」を実現。

- AIも学習し進化する時代において、人間が学ぶことの本質的な意義や強みを問い直し、これまで改訂の中心であった「何を学ぶか」という指導内容の見直しに加えて、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点から学習指導要領を改善。

学習指導要領が、**学校教育を通じて子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容、学び方の見通しを示す「学びの地図」**として、教職員のみならず、子供自身が学びの意義を自覚する手掛かりとしたり、家庭・地域、民間企業等において幅広く活用したりできるようにすることを目指す。

- 現行学習指導要領に基づく真摯な取組が、改善傾向にある国内外の学力調査の結果などに表れてきている一方で、判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べることや、社会参画の意識等については課題。

持続可能な開発のための教育(ESD)等の考え方も踏まえつつ、社会において自立的に生きるために必要な「生きる力」を育むという理念のさらなる具体化を図るため、学校教育を通じてどのような資質・能力が身に付くのかを、以下の三つの柱に沿って明確化。

- ① 生きて働く「知識・技能」の習得
- ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養

- 学習内容を深く理解し、社会や生活で活用出来るようにするためには、知識の量や質と思考力の両方が重要。学習内容の削減は行わず、「アクティブ・ラーニング」の視点から学習過程を質的に改善することを目指す。知識重視か思考力重視かという二項対立的な議論に終止符。

「アクティブ・ラーニング」の視点は、学校における質の高い学びを実現し、子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたってアクティブに学び続けるようにするためのもの。「学び」の本質として重要となる**「主体的・対話的で深い学び」**の実現を目指す授業改善の視点が、「アクティブ・ラーニング」の視点。

- ①学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結びつけていく 「主体的な学び」
 - ②多様な人との対話や先人の考え方（書物等）で考えを広げる 「対話的な学び」
 - ③各教科等で習得した知識や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想・創造したりする 「深い学び」
- こうした教育課程の構造や、新しい時代に求められる資質・能力の在り方、アクティブ・ラーニングの考え方等について、すべての教職員が校内研修や多様な研修の場を通じて理解を深めることができるよう、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点から学習指導要領の要であり、教育課程に関する基本原則を示す「総則」を抜本的に改善し、必要な事項を分かりやすく整理。

こうした新しい総則を手掛かりに、前回改訂の答申でも提言された、各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実施を促進し、学校教育の改善・充実の好循環を実現。

- 次期学習指導要領の実現に不可欠な指導体制の確保や教材の改善・充実、ICT環境の整備など、必要な条件整備についても整理。授業づくりや教材研究、学習評価等を教員の中心的業務とできるよう、業務改善等に向けた取組も併せて実施。

平成29年8月17日

第67次 印旛地区教育研究集会

進路指導部 提案資料

研究主題

『自ら学び、表現する生徒を育成する教育活動はどうあるべきか』
—進路指導を通して—



佐倉市立根郷中学校
篠宮 翔

I 研究の概要

1 研究主題

『自ら学び、表現する生徒を育成する教育活動はどうあるべきか』
－進路指導を通して－

2 主題設定の理由（本校の実態を踏まえて）

他者とのコミュニケーション、娯楽、仕事、学習、生活の全てがタブレット1つでできる時代である。情報技術の驚異的な発達により、もはや物理的距離は何の隔たりもなくなった。

テロ行為が世界各地で発生し、現在の戦争は戦場を持たない。あらゆるものの技術の進歩により、生活はますます便利なものになっているのに、人は生き易くなったかという、人生はさらに複雑に詰め込まれているような気がしてならない。

このような状況において、生徒たちが将来を渡り歩いて行く上で、多くの困難が待ち受けているだろうと想像する。本校の教育目標は「夢や希望を持って、これからの時代を生き抜く生徒の育成」である。便利で快適ではあるが、決して容易ではない現在をただ「生きる」のではなく「生き抜く」。ここに強い意志を持ってこれからの社会を形成する人間に育ててほしいという願いがこめられている。

現行の学習指導要領では、「生きる力」を育むことを重視している。変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てていくことが大切だとしている。この力の育成には「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学習に取り組む意欲の育成」が必要とされている。とりわけ、表現力・コミュニケーション能力をしっかりと身につけた者が、国内外で山積されている課題を解決していく中心となり得るのではないだろうか。

本校の生徒は非常に落ち着いて日々を過ごしており、何事に対しても真面目に取り組むことができる。一方で自己主張することが苦手な生徒が多く、集団における問題解決力に乏しい。授業においても、正解が1つしかない問題に答えることはできても、自分の思いや考えを自由に表現できる生徒は少ない。また、与えられた課題については熱心に取り組むことができるが、自ら課題を見つけ主体的に学習を進めることには消極的である。

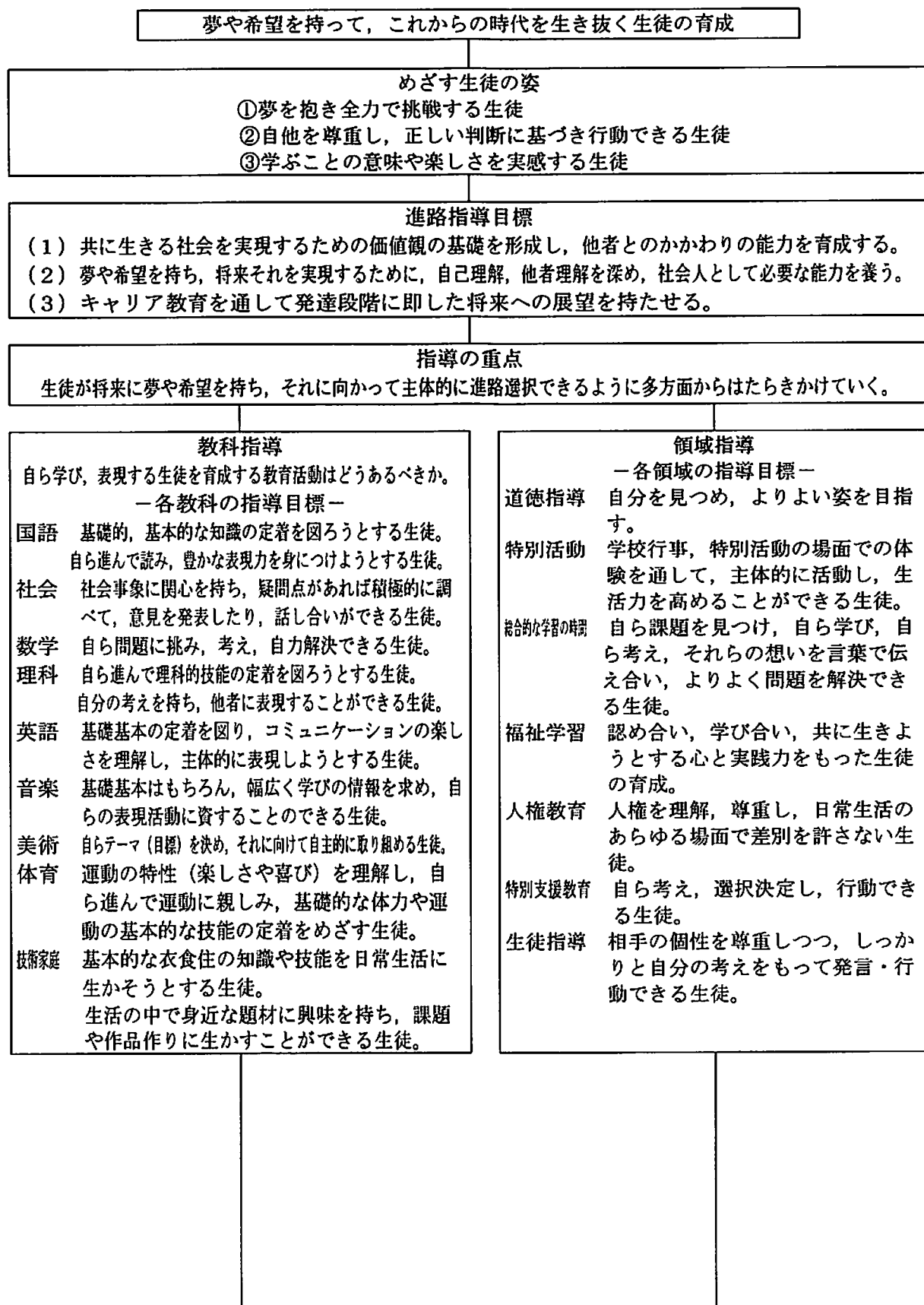
以上のことにより、本年度の研究主題を「自ら学び、表現する生徒を育成する教育活動はどうあるべきか」と設定した。基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、主体的な学習を促進するとともに、教師と生徒、生徒同士の信頼関係を築き、間違えることを否定しない雰囲気の中で、言語活動を充実させながら生徒の表現力を高めていきたい。また、生徒一人一人の存在が認められ、活躍の場がしっかりと保障されるような場面を意図的に設定していきたい。

3 研究の仮説

- (1) 生徒指導の機能（自己決定・自己存在感・共感的理解）を生かした授業を展開することで、自信を持って自分の思いや考えを表現することのできる生徒の育成につながるだろう。
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することで、自ら学ぶ生徒の育成につながるだろう。
- (3) 進路指導を推進することで、将来への関心が高まり、学ぶこと・働くことの意義を考えることができ、さらに系統的な学年毎の取り組みを通して個性を見つめその高揚が図られることで、未来を見据え進んで学ぶ生徒の育成につながるだろう。

4 研究内容

(1) 進路指導全体関連図



道徳	
1	望ましい生活習慣の確立を図り、個性を伸ばし、充実した生き方を求める力を養う。
2	多面的なものの見方や考え方があることを理解させ、個性や立場の尊重・感謝と思いやりの心を育てる。
3	自然に触れる機会を多く持たせ、自然や美しいものに感動する心を育てる。
4	日本の優れた伝統の継承、新しい文化の創造に取り組む態度と先人や高齢者に対する敬愛の気持ちを育てる。

特別活動	
学級活動	生徒一人一人が学級の役割を分担し、話し合いや係活動を通して、学級生活や学校生活の向上に努める態度を育てる。 好ましい人間関係を基礎に生徒一人一人の個人的、社会的適応を図り、自己を生かす能力を育てるとともに、心身ともに健康で安全な生活習慣を身につけさせる。
生徒会活動	学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力活動、ボランティア活動を通して、楽しく創造的な学校生活を築こうとする自発的、自主的な態度を育てる。
学校行事	生徒の積極的な参加と協力を図り、望ましい集団活動を通して、より大きな集団への所属感を培う。 学校生活に望ましい変化と折り返しをつけ、学校生活を豊かにするとともに心身の健全な発達を図る。 自然体験や社会体験を充実させ、生徒の総合的かつ自主的な活動を通して、創造性や社会性を育てる。

II 研究の実践

1 各学年の進路学習

(1) 1学年実践内容

- | | |
|--------------|--|
| ① 「自分の夢」 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路に対する関心を高める。 ・今後の進路学習への興味づけ。 |
| ② 「いろいろな職業」 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職業があることを知り、職業に対する視野を広める。 ・職業を分類し、それぞれの職業に特徴（適性）があることを理解させる。 |
| ③ 「働く意義」 | <ul style="list-style-type: none"> ・人は何のために働くのかを考えさせる。 ・職業インタビュー学習の導入とする。 |
| ④ 「職業インタビュー」 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近に働いている人への調査から、働く人が「どのように考え」「どのように取り組んでいるか」を知り、職業や働くことに対する関心や理解を深めさせる。（夏休みの課題） |
| ⑤ 「自分を知る」 | <ul style="list-style-type: none"> ・個性について理解し、関心を持たせる。 ・個性を認めあう大切さを知り、温かい人間関係づくりを深める。 |
| ⑥ 「自分を見つめ直す」 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分を知るための視点や方法を知り、自己理解の重要性を理解させる。 |
| ⑦ 「進路と将来設計」 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路への多様な価値観や大切さを考え、進路選択へ向けての意識の向上を図る。 |

(2) 2 学年実践内容

① 「職業について考えよう」

- ・ 職業や働くことについて考え、イメージを膨らませ、意欲の向上を図る。
- ・ 自分を取り巻く身近な職業の理解から、私たちの生活と職業のかかわりや大切さを理解する。
- ・ 多様な職業の内容や特色等を考え、その職業の適性等について理解を深める。
- ・ 様々な職業の情報を理解、活用しながら、職業や働くことについての関心を高める。
- ・ 自分の「夢」の広告を作りながら、自分の将来や進路について意識を深める。
- ・ 自分が体験したい職種・職場の候補を見つける。(職場体験希望アンケート)
- ・ 候補を選んだ希望理由や目的について整理する。
- ・ 職業と産業の関係について理解を深める。

② 「なぜ、人は働くのだろう」

- ・ 自分なりの働く意義を考えることにより、働くことや職業への興味・関心を高める。
- ・ 働くことの多様性や個々の価値観を理解することにより、働くことの重要性や大切さを理解する。

③ 「職場体験学習」

- ・ 実際に働く経験を通して、働く人達の喜びや苦労を実感するとともに、自分の将来に対する希望や進路選択への意欲を高める。
- ・ 体験を通して、勤労の尊さや意義を学ぶ。
- ・ 働く人達とのふれあいを通して、社会人としての責任やマナー、人間関係の大切さなどを身につける。

【職場体験学習の流れ】

- ① 生徒が事業所に、打ち合わせ日時について電話で確認する。
- ② それぞれの事業所で体験する生徒全員で、事業所訪問・打ち合わせをする。
- ③ 体験の名簿と正式な依頼書を体験事業所に提出する。
- ④ 職場体験に向けての事前準備を行う。
- ⑤ 体験実施
- ⑥ 体験した事業所に礼状を書く。
- ⑦ 体験発表会準備を行う。(学年内)
- ⑧ 1年生を対象にした体験発表会を開く。

(プレゼンテーション能力の育成, キャリア教育の推進)

【職場体験学習の内容】

1. 事前の指導（事業所との連携等）①～④
 - ・最初に電話対応や訪問時のマナーを2時間行い(資料1, 2), その後, 各事業所代表生徒が電話連絡を行う。(資料3)
 - ・事前訪問日を決め, 打ち合わせに行く。(資料4)
 - ・事前準備として履歴書を記入するが, 今年度は事業所に提出をしていない。(資料5)
2. 当日, 2日間の活動⑤
 - ・事業所ごとに内容は異なるが, 事業所の方とのコミュニケーションをとり, 職場とはどういうところなのか体験する。
 - ・帰着報告を行う。
 - ・事業所の方にアンケートを書いてもらう用紙を渡し, 後日アンケートをもらう。
3. 事後指導, 1年生へのプレゼンテーション⑥～⑧
 - ・お世話になった事業所へ礼状を作成
 - ・体験学習発表会に向けての資料を作成する。今年度は, 模造紙を使用。(資料6)
 - ・1年生に向けて「体験学習発表会」を行う。保護者や事業所に(資料7)を配布し, 発表を聞いてもらう。
 - ・質疑応答の時間を設けて1年生は質問をし, 発表者はそれに対して答える。
 - ・事業所の方のアンケートを生徒に伝える。(資料8)

(3) 3学年実践内容

- ①「いよいよ中学三年生」
最終学年の意義を理解し, 自分なりの目標をもって臨む姿勢をつくる。
高等学校の先生方に実際に話を聞き, 進路選択への関心を高める。
- ②「長期休業を充実させよう」
3年生としての長期休業の過ごし方を考え, 主体的に行動する姿勢をもつ。
高校見学を通し, 実際の高校生活について体験をする。
- ③「学習の進め方を確認しよう」
進路希望を実現するための学習の課題を明確にし, 学習の取り組みを再確認する。
面談を行ったり, 各試験において, 学習の振り返りを行う。
- ④「学習の悩みを解決しよう」
自分の学習の問題点や原因を知り, 改善方法を理解し, 学習意欲を高める。
- ⑤「進路選択の準備をしよう(1)」
進路選択の流れを知り, 主体的に行動する姿勢をつくる。
- ⑥「進路選択の準備をしよう(2)」
進路希望先について調べる意義と方法を知り, 今後の学習に意欲をもつ。
- ⑦「進路選択の準備をしよう(3)」
自分に必要な進路情報を収集・整理し, それを進路選択に生かす姿勢をつくる。
- ⑧「自分にあった進路先とは」
自己に関する進路との関係を知り, 進路選択に生かす姿勢をつくる。
- ⑨「将来を見通した進路選択をしよう」
将来の社会生活を見通した進路選択の大切さを理解し, さまざまな観点から確認する。
- ⑩「受験生としての心構えを作ろう」
様々な面接指導を通して, 日頃の服装や生活態度を見直す機会を設け, 社会人への一歩とする。

- ⑪「中学生活、ラストスパート」
学級の一員としてよりよく生きるための方法を考え、行動につなげる。
3年間お世話になった学校へ、奉仕作業を通して、感謝の気持ちを伝える。
- ⑫「進路の最終決定をしよう（１）」
進路決定に必要な要素と手順を再確認し、最終決定への意欲を高める。
- ⑬「進路の最終決定をしよう（２）」
進路決定への最終的な準備を整え、自らの意思と責任で進路を選び取る姿勢をもつ。
- ⑭「未来を信じてはばたこう」
これまでの成長を確認するとともに、新たな生活への希望をもって生きる姿勢をつくる。
- ⑮「リバーズ・プロジェクト」
活動組織を立ち上げ奉仕作業を卒業式前まで継続して行う。

Ⅲ 研究の成果と課題

(1) 1学年の成果

自分の生き方像を描き、その実現に向けた見通しを持たせるために、職業や働くことの意義について様々な観点から学び、自ら自分の「進路」について真剣に考えるよい機会となった。また、個性の概念を理解し、職業の適性について考えることで、自己の個性を見つめ、伸ばしていく意欲が高まり、将来への関心が高まってきた。

2学年の職場体験学習報告会への参加など、体験的な学習内容も取り入れて実施することができ、より深まりのある学習にすることができた。これらを次年度に継続して生かすことが重要と考える。

(2) 2学年の成果

職場体験学習において、職業や働くことについて自ら学び考えさせ、近い未来の進路について考えるきっかけとなった。価値観や進路先についての情報を入手し、個々が理解を深めることができた。特に「なぜ、人は働くのだろうか」では、働くことの意味はさまざまであり、他人の価値観を知ることで、自分なりに働くことの意味を改めて考えることができた。卒業後の様々な進路について更に理解を深めることで、個々の意識の高揚が図られたと考える。

(3) 3学年の成果

今の自分を見つめ、将来への自分像を描かせながら進路指導を行ってきた。進路選択の時期であることを自覚させることで、自分の将来像が揺らぐことの無いよう、しっかりとした将来への道筋を立てていくよう指導できた。その指導により、各高校についての情報を自ら調べ学校説明会等への参加に向けての意識が高まった。また、自分の進路だけではなく、3年間お世話になった学校へ感謝の意を表して卒業できるように、「リバーズ・プロジェクト」というものを生徒が自ら考え、活動組織を立ち上げ奉仕作業を卒業式前まで継続して行うことができた。

(4) 系統的な取り組みにおける課題

表現力を育成するために、少人数グループでの活動やICT機器の利用、授業導入時における工夫などすべての教科で行われてきた。しかしその中でも、生徒の学力格差があり個に応じた支援の必要性はますます高まり、指導法にもさらなる工夫が求められる。

3年間を通して生徒のキャリア発達の課題に即した系統的な取り組みや各教科の学習と結びつけた取り組みを一層推進し、計画性・体系性を持った展開へと改善を図っていく必要がある。

<資料1> 職場体験学習「電話でのマナー」

2年 組 番 名前_____

11月17日、18日の職場体験にあたって、11月1日～4日に事業所訪問を行います。訪問する前に電話でこちらがうかがうことを伝えなければなりません。そこで基本的な電話のマナーを覚えましょう。

- ① 敬語で話す。
- ② はじめに自分の名前と用件を話す。
- ③ 相手の都合を聞く。
- ④ 都合が悪い場合は、いつが適当かを聞く。
- ⑤ 最後にお礼の言葉と「よろしくお願いします」を忘れずに。
- ⑥ 筆記用具を用意して電話をすること。（大事なことはメモしよう。）
- ⑦ 語尾をはっきりとさせる。
（「～ですけどお…」と間延びした、語尾が消えるような話し方では、相手に良い印象を与えません。語尾をはっきりと話すようにしましょう。）
- ⑧ 電話では顔が見えません。ハキハキと明るく話すように心がけよう。

例) 電話をかける。先方が出て名乗る。

○生徒 もしもし_____さんでしょうか。私は根郷中学校2年の_____と申します。このたび職場体験でお世話になる者です。御担当の△△様はいらっしゃいますか？

●事業所 少々お待ち下さい。

●担当者 お待たせしました。△△です。

○生徒 根郷中学校の_____と申します。11月17日・18日に 職場体験で_____名お世話になります。よろしくお願いします。今日は事前の打ち合わせのために、訪問させていただく日について、確認の電話をさせていただきました。
_____さん（事業所）の希望日が_____日（ ）曜日の_____時ということですが、それでよろしいでしょうか。

●担当者 それで結構です。よろしくお願いします。

※事業所が変更を要望してきた場合は、できるだけ16:00以降をお願ひして、再度確認すること。（11月1日・2日・4日）

○生徒 わかりました。ありがとうございます。それでは_名で、_____日（ ）曜日の_____時に伺います。どうぞよろしくお願いします。失礼します。

※ 自転車を使って訪問する場合はその旨を話して自転車で行ってよいか、自転車を何処に置けばよいかなども聞くこと。

なお、上記は基本的なやりとりなので、失礼のないよう丁寧に話してください。

<資料2> 職場体験学習「事業所訪問時のマナー」

2年__組__番 名前_____

11月〇〇日の午後、皆さんは職場体験学習当日の打ち合わせのために事業所を訪問させていただきます。失礼なことがあれば根郷中学校全体に迷惑がかかります。きちんとした態度で行くことが何よりも大切です。

【基本的なマナー】

- ① 服装、髪型などをしっかり整えること。
- ② 外見が、人の印象の90%を決めると言います。
- ③ 自分で見るだけでなく、友達や先生からもチェックしてもらいましょう。
- ④ 約束した時間に遅れないように行くこと。
- ⑤ 中学生らしい素直で真面目な態度で臨みましょう。
- ⑥ 敬語を使って、丁寧な言葉で話しましょう。
- ⑦ 職場の方のお話で大切なことはメモをとりましょう。
- ⑧ 始める前には「よろしくお願ひします」、終わった後には「本日はありがとうございました」を忘れずに言ひましょう。最後は全員でお礼の言葉を！
- ⑨ 学校からの行き、帰りも寄り道などせず。

【実際に職場に行ってから注意すること】

- ① 職場の方のおっしゃることは、目を見て真剣に聞きましょう。
- ② わからないことは、そのままにせず必ず聞きましょう。
- ③ 言葉が聞き取りづらかったら、「もう一度お願ひします」と頼みましょう。
- ④ 教えていただいたら、必ず「ありがとうございます」と言ひましょう。
- ⑤ 職場の物を勝手にさわらない。伏せてあるものを勝手に見ない。
- ⑥ 体験が終わって帰る時は、必ず「ありがとうございました」と丁寧にお礼を言う。

<<例>>

○生徒 こんにちは。根郷中学校から来ました_____と申します。

_____さんはいらっしゃいますか？

●事業所 少々お待ちください。(〇〇にいますので、そちらに行ってください。)

○生徒 わかりました。ありがとうございます。など

●担当者 こんにちは。△△です。

○生徒 お忙しいところをすみません。根郷中学校から来ました_____と申します。今日は今月の17日・18日にお世話になります職場体験のことで訪問させていただきました。よろしくお願ひします。

●担当者 はい。わかりました。

○生徒 いくつか質問させていただいて、よろしいですか。

●担当者 いいですよ。何かな。

○生徒 はい。それではお願ひします。(質問用紙の内容にしたがって質問する)

○生徒 本日はお忙しいところを本当にありがとうございました。11月17日からの2日間、どうぞよろしくお願ひ致します。

ありがとうございました。失礼します。(全員で)

※ 上記は、基本的なやりとりなので、失礼のないように丁寧に話してください。

<資料3> 《事業所との確認事項》

打ち合わせ日 平成28年 月 日

事業所名

代表者氏名

確認事項

日 時 平成28年 11月17日(木)・18日(金)

希望時間 8:30~16:00 (それ以外は事業所の都合にあわせる)

①体験させていただく時間 _____

②当日の集合場所 _____

③自転車を止める場所 _____

④当日の持ち物

・昼食*基本は弁当 ()

・服装 (・制服 ジャージ その他)

・名札 (・必要 不必要)

・上履き (・必要 不必要)

・その他 ()

⑤当日体験させていただく仕事内容

⑥当日参加するにあたっての心構え (アドバイス)

<資料4> 事前訪問報告書

職業体験学習 事前訪問について

訪問予定日 11/ 1 (火)、2 (水)、4 (金)

※自分 (達) の予定を確認しよう。

※事業所まで行くためにかかる時間を計算して、訪問時間の予定をたてよう。

1. 事業所名

2. 代表者

3. 事前訪問日 11月 日 () 曜 時 分

4. 事前訪問参加者氏名 (全員参加すること)

5. 出発時間 11月 日 () 曜 時 分

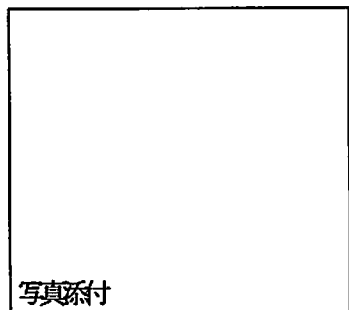
6. 交通手段

※事前訪問日に学校から直接事業所に向かう場合で、自転車を必要とする山王地区の生徒は、臨時許可証を発行するので担当の大野先生に申し出ること。

※この文書は2枚作成し、1枚を担当の先生に提出し、もう1枚は各事業所の代表者が保管すること。

<資料5> <佐倉市立根郷中学校>

履歴書 (自己紹介カード) 年 月 日 現在



ふりがな	男 女
氏名	部活動

生年月日 平成 年 月 日 (満 才)

現住所 〒 -




電話番号 () -

年	月	学歴・職歴 (各列にまとめて書く)

中学校でがんばっていること (学習・生活・諸活動など)

Area with horizontal dashed lines for writing about activities in middle school.


木 萌

1日目	2日目
6:00 出勤	9:45 出勤
7:15 暮西花市場着	10:00 開店
7:15~ 市場下見	10:30 フラワーアレンジメント
7:30~ せり	11:00 花と卸す
9:30 出発	1:00 お昼
10:30~ 柳家見学	1:30 花束作り
11:00 出発	
11:30 萌木到着	
12:00 終了	



Question!!

- 1 花の搬入の仕方は? 4:00 質問
4:15 終了
- 2 一番花が売れる時期は?

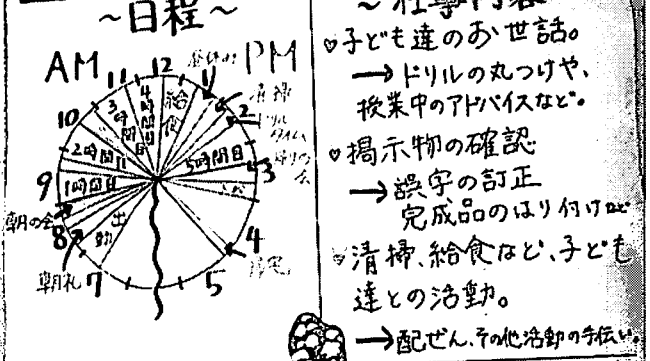
佐倉南図書館

	1日目	2日目
8:30	朝礼	朝礼
8:40	説明	新刊本
9:30	カウンター	
10:05	休み	回送本読みこみ
10:20	カウンター	予約本探し
11:30	配架・書架整理 回送処理	相互協力便
12:00	昼食	昼食
?	配架・書架整理	回送処理
13:00	根郷公民館へ	配架・書架整理
13:35	配架・予約本探し	ラベル作成
14:00	終了	終了

職場体験 in 高安組

1日目	2日目
8:30 集合(出勤)	8:30 集合(出勤)
9:00 王子台六丁目	9:00 四街道幼稚園
10:10 休憩	10:20 休憩
10:40 事務所へ戻る	12:00 昼食
11:00 高安組	13:00 後の作業開始
12:10 昼食	15:20 解散
13:00 移動	
13:20 四街道幼稚園	After
15:00 事務所へ戻る	
15:20 高安組	

寺崎小学校



~仕事内容~
 〇子ども達のお世話
 →ドリルの丸つけや、授業中のアドバイスなど。
 〇掲示物の確認
 →誤字の訂正、完成品のほり付け等
 〇清掃、給食など、子ども達との活動。
 →配せん、その他活動の手伝い。

2日間はとても短いですが、それ以上に、楽しい事がたくさんあり、人間的成長を感じる。という事に、とても励まされた。ここに学んだことは、学校生活、さらには社会の道路にも、活かしていきたいです。
 2年1組担当

職場体験を通して、子供達との関わり、そして勉強の楽しさや、自分自身の成長を感じることができました。この経験が、今後の学校生活や社会生活に活かしていきたいです。
 4年2組担当

先生という立場で学校について、生徒の気持ちの通ったり、下級生を指導する楽しさを感じた。また、自分自身が成長した。とてもいい経験だった。
 3年1組担当

~質問Q&A~
 Q 1番大変な事は何か?
 A 行事と普段の仕事を平行して進めること。
 Q 仕事で心掛けている事は何か?
 A スタートからゴールまで、最後まで諦めずやるべきこと。
 Q 仕事を通して、何を感じたか?
 A 時間をかけて、大変だった。でも、成長が見えると嬉しい。
 Q 楽しい行事は何か?
 A 桜祭り、スリルがあった。大の盛り上がりがあった。

第 学年保護者 様

佐倉市立根郷中学校長
同 2学年主任

職場体験学習発表会のお知らせ

向寒の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。過日（11月17（木）、18日（金））、2年生の生徒は24の事業所の協力を得て、進路学習の一環として職場体験学習を実施しました。当日は一人ひとりにとって、将来に向けての貴重な体験となりました。

さて、その職場体験学習のまとめとして、1年生及び2年生の保護者の方を対象に、職場体験学習発表会を下記のとおり実施致します。ご多忙のこととは存じますが、是非ご参観いただきたくご案内申し上げます。

記

1. 目的
 - ・職場体験学習を通して学んだこと、発見したこと、感想等を発表することで成果を確認し、職業に対する意識の向上を図る。
 - ・友達の発表から色々な職種、職場について知り、情報を共有する。また、考えや主張等に耳を傾け、新たな発見をしたり、そこから学ぼうとする力を身につける。

2. 日時 平成28年12月7日（水） 13:10～14:50

3. 場所 根郷中学校 2学年教室・第3多目的室・理科室（いずれも2階）

時間 発表場所	13:20～ 13:35	13:35～ 13:50	13:50～ 14:05	14:05～ 14:20	14:20～ 14:35	14:35～ 14:50
2-1	さくら 自動車整備 センター	山王小学校	岩名 運動公園	南図書館	カインズ ホーム	カステッロ (レストラン)
2-2	ウイシュトン ホテル ユーカリ	城南幼稚園	寺崎小学校	佐倉厚生園	ル・コック (ケーキ屋)	佐川急便
2-3	高安組 (土木)	根郷保育園	佐倉市 美術館	萌木 (花屋)	味の民芸 (レストラン)	鮎子丸
第3多目	佐川急便	根郷保育園	印旛郡 市文化財 センター	hair weve (美容室)	醇	農家
理科室	さくら 自動車整備 センター	城南幼稚園	寺崎小学校	Wiz (美容室)	ベイシア	鮎子丸

4. 内容 教室を事業所ごとに5会場に振り分け、生徒達が作成した資料をもとに、順次発表する。

※上履きをご持参ください。また、昇降口よりお入りください。

※自家用車でのご校は、ご遠慮ください。

<資料8> 事業所から職場体験についてのアンケート

①生徒の態度 (挨拶、返事、作業態度など)

皆さん挨拶、返事がしっかりと来られて、業務に対して積極的に参加して下さる姿、初年度質問をする等とても良かったです。

特に取組んで頂いた、評価を希望して下さる館内案内は、一生懸命取り組んで頂いたので、今後ぜひ不慣れな業務も生徒さんへお願いしたい。

4名の生徒さんが挨拶もかなりできていました。備前方面の行事の中で一生懸命取り組んで頂いたので、

挨拶、返事等は良くて良かったと思います。後がもっと良ければいいです。

挨拶の声が小さかったり、指示に対する返事が不備なものが多かった。又慣れたら普段作業態度で使われる話には慣れたらいいと思う。作業態度も良かったと思います。

②その他の意見や感想

反省会では、体験されたお音の感想や、こちら側に対して、「この職業について勉強はなんですか?」、「この職業については、中学生の時期にやるべき事はなんですか?」等しっかりとした意見を挙げて、驚きました。こちらも初心に戻る事ができるとも感謝しています。これからも頑張ります。

作業が終了したあと話を聞けるという質問の内容が自分達で考えておけるとも良かったと思います。生徒さん達にも「見学、体験、行ので、仕事としてみるのに入ると自分たちも仕事、と可なり意識して来たいので、事前に学校でも意識させる話をしてほしいと思います。

慣れない環境で大変だったと思いますが、色々な経験があるので、わが国にいても、知れないことを多く覚えることが、これに意義を職場体験ができたと思います。今日の経験がみなさんの将来に役立つことを願っています。

4名の生徒さんが一生懸命取り組んで、2日間こちらを応援する姿が良かったです。来年になると思いますが是非、職場体験をバイブルとして頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

2人づつおのづからいかに出来、館内清掃の作業は、おはようございます、作業の態度も、いいので、取組んで頂いて、とてもありがたかったです。

印教研進路指導分科会提案資料

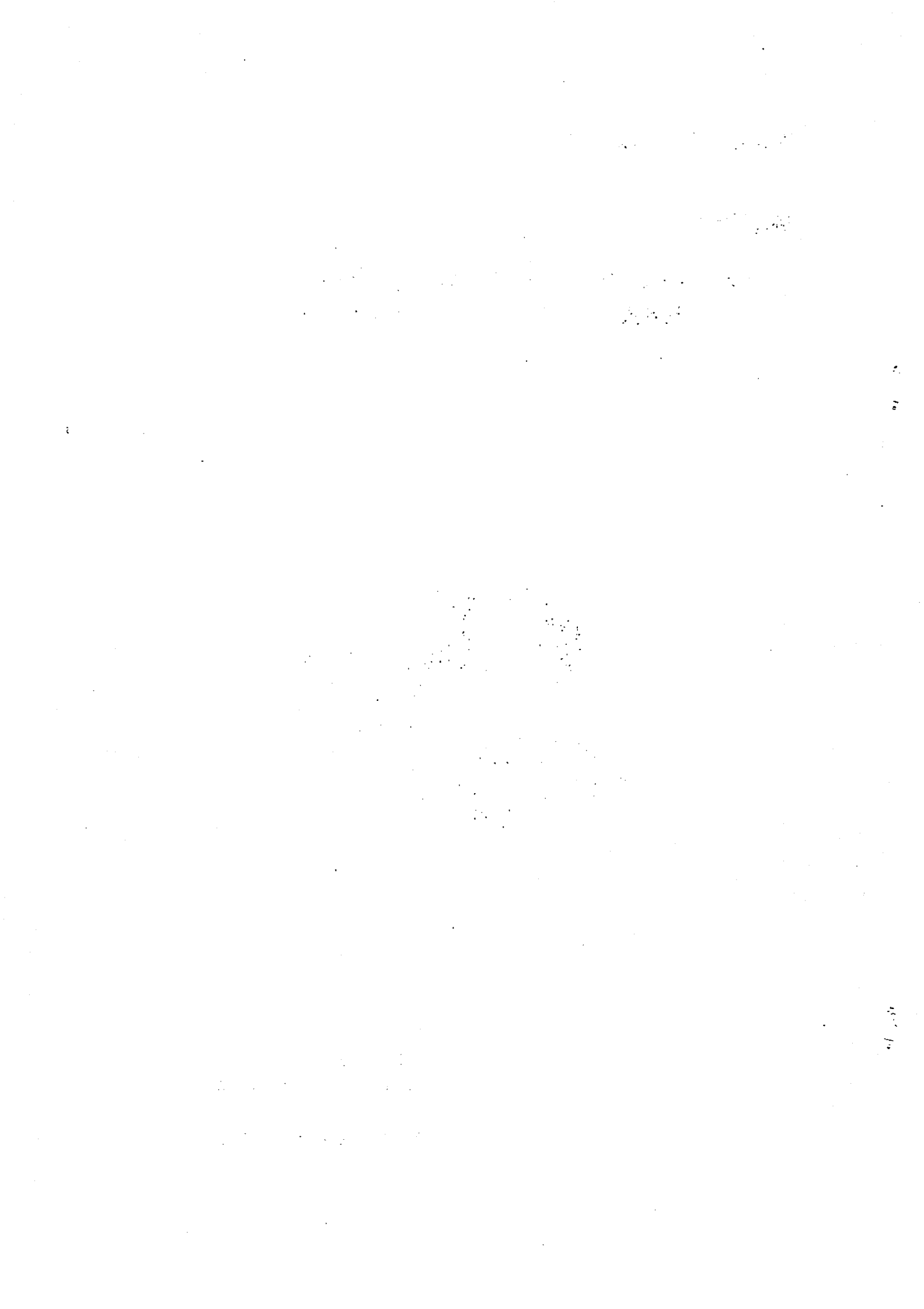
研究テーマ

一人ひとりを生かすキャリア教育のあり方について
～「社会人に聞く会」の会の開催形式から～



平成29年8月17日(木)
成田市中央公民館

成田市立成田中学校 大和義己



1 研究テーマ

一人ひとりを生かすキャリア教育のあり方について
～「社会人に聞く会」の会の開催形式から～

2 研究テーマ設定理由

(1) 教育法から

学校教育法第 21 条（義務教育の目標）において、第 1 号「学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」、第 4 号「家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと」、第 10 号「職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと」が定められた。

キャリア教育は、児童・生徒がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけである。そして、キャリアの形成にとって重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身に付けることにある。したがって、キャリア教育は、児童・生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることを目指すものである。自分が自分として生きるために、「学び続けたい」「働き続けたい」と強く願い、それを実現させていく姿がキャリア教育の目指す子ども・若者の姿なのである。

これらのことを踏まえ、キャリア教育の以下の観点からテーマを考えた。

- ・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。
- ・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・整理し活用する。
- ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。
- ・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。
- ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。

(2) 学校教育目標から

学校教育目標は

「豊かな心を持ち、正しい判断力・実践力を身につけた、たくましい生徒の育成」
～ 自立と共生をめざして ～

※自立とは「自ら気づき、判断し、よりよく自己実現する」ことである。

(自己指導力の育成)

※共生とは「他との違いや個性を認め合い、よりよく生きる」ことである。

(相互援助力の育成)

具体的目標

- ◎ 自らの意志で積極的に学習する生徒を育てる。「確かな学力」

- ・ 自主的，計画的に学習する生徒
 - ・ 物事をよく考え，疑問点を追究する生徒
 - ・ 志望の達成に向けて努力する生徒
 - ◎ 豊かな心を持ち，思いやりのある生徒を育てる。「豊かな人間性」
 - ・ 服装や礼儀が正しく，相手の立場を考え行動する生徒
 - ・ 良書に親しみ，感動する心を持った生徒
 - ◎ 心身が健康でたくましい生徒を育てる。「健康・体力」
 - ・ 運動に親しみ，体力づくりに励む生徒
 - ・ 何事にも粘り強く，最後まで取り組む生徒
 - ・ きまりを守り，公共物を大切にする生徒
- 以上の目標から生徒個々に生かされるキャリア教育の必要性がある。

(3) 生徒の実態から

成田中学校の保護者は地元の商店や企業で働く方が多く、農業や空港、成田山新勝寺の関係の仕事に従事している方もいる。そんな環境下で、将来の仕事を考えるとき、生徒は新しい仕事への興味関心があまりない傾向がある。生徒の中には社会的な動向を考えず、現在身近にある仕事に就けばいいと考えるものもいる。生徒が知っている職業も他の職業に関連していることを考えることが大切になる。そこで、この実態に合わせて本来考えられる自分の生き方や職業について新たな発見をすることが求められる。

3 本校のキャリア教育

キャリア教育指導目標

現在と将来の生活に目標と生きがいを持ち、適性や能力にあった進路を主体的に選択できる能力や態度を養う。

研究テーマ「一人ひとりを生かすキャリア教育はどうあるべきか」

各学年の目標

1 学 年	(1) 基本的な生活習慣を身につけさせる。 (2) 自分の将来に関心を抱き、夢と希望を持って、楽しく充実した中学校生活を送れるようにする。 (3) 自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、自己の進路について計画を立てて進めていく態度を養う。
2 学 年	(1) 中堅学年としての自覚を持ち、健康で安全な生活を送れるようにする。 (2) 自己理解を深め、広い視野にたつて進路を考え、その実現にむかって努力する態度を養う。 (3) 上級学校や職業などに関する進路情報をもとに、明確な進路の希望や計画を持たせる。
3 学 年	(1) 自分の進路に誇りを持ち、最高学年として責任ある行動がとれるようにする。 (2) 将来を見通した進路の選択や決定が具体的にできるようにし、困難を克服していく態度を養う。 (3) 望ましい価値観に基づいて自己にふさわしい進路選択ができるようにする。

ここでは1学年の(3)自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、自己の進路について計画を立てて進めていく態度を養う。項目について「社会人に聞く会」を通してどのように生徒に生かしていくか考える。

4 研究仮説

仮説1

職業についての種類ややりがいなど、キャリア教育を意識してすべての教育活動の中で取り入れていくことにより、生徒一人ひとりの将来の生き方について意識改革が図れるだろう。

仮説2

1学年の「社会人に聞く会」2学年の職場体験の取り組み方を考えて行くことにより生徒一人ひとりにいきたキャリア教育になるであろう。

5 研究内容

仮説1について

各教科でのキャリア教育の取り組みとして教科ごとにいろいろと功績のあった人たちについて知る。たとえば、国語で小説家として仕事にしている人たち、理科でいろいろな発見をした人たち、社会であれば歴史的な人物など過去のいろいろな仕事を手がけた人たちを知る事ができる。教科ごとに仕事にはいろいろなものがあることを知る手がかりになる。

また、総合などの授業の中で現代のいろいろな仕事についてやりがいや大変さなどを映像を通して紹介することにより、生徒個々の将来の目標や生き方について考えることができる。

仮説2について

幅広い視野に立って職業を考える機会にするために1年生では「社会人に聞く会」2年生では「職場体験」を実施している。ここでは、特に学校の現状を考えた上で、特に1年生の「社会人に聞く会」について、いろいろな職業を知る機会にしている。

従来の社会人講話では講師の先生をお迎えし各講座ごとに講義を聴くケースがほとんどであった。このケースでは一人の生徒が好きな講座2講座に参加することしかできなくなる。そこで、講師の先生方にパネラーとなってもらい、全生徒に向かい話ができるようにする方法を考えた。より多くの職業について学習できる良い機会となると考える。

6 研究の実践

社会人に聞く会について実践例

(1) 学習計画 (事前の学習)

- 10月中
 - ・職業講話希望 (予備アンケート)
- 11月中
 - ・学年会議で講師検討、担当者決定、
- 12月中
 - ・担当者が電話で講師に依頼、講師決定
 - ・担当者が講師に正式文書発送 or 届ける (決まり次第送る)
 - ・講話希望の調査 (生徒アンケート)
 - ・副読本を使って職業に関する授業をする
- 冬休み
 - ・宿題として: 興味のある職業を具体的に調べてくる
- 3学期
 - ・生徒アンケートのまとめ (グループ分け原案の作成)
- 1週目
 - ①総合・学活
 - ・担任 : DVD鑑賞「仕事ハッケン伝」
 - ②総合
 - ・担任 : 生徒アンケート検討 (コース決定)
- 2週目
 - ③総合・学活
 - ・担任 : DVD鑑賞「仕事ハッケン伝」
 - ④総合
 - ・担任 : 希望調査の結果発表 (コース発表)
- 3週目
 - ⑤総合
 - ・コース別会議 (座席, 司会・号令・案内・お礼の各係, 質問の決定)
 - ⑥学活
 - ・コース別会議 (模擬授業)
- 4週目 当日
 - ⑦2/〇 (〇) 帰りの会
 - ・事前指導 (15分程度、合同帰りの会)
 - ⑧⑨2/〇 (〇) 当日
 - ・社会人講話 (午後)、個人レポート作成
- 5週目
 - ⑩総合・学活
 - ・礼状作成
 - ・礼状完成 (遅くとも1週間で確認) **講話から2週間後には発送**
 - ・副読本を使って職業に関する授業。

・講師と職員分担 **講師8名** 12月中に連絡・許可を得る。(年によって変わります)

- 1**建築関係 積水ハウス社員
- 2**医療看護関係 成田日赤病院
- 3**教育系 成田保育園 (保育士)
- 4**公務員系 成田消防署 (消防士)
- 5**自動車関係 千葉トヨペット成田店
- 6**美術・デザイン関係 千葉県立美術館
- 7**スポーツ選手 千葉ジェッツ事務局
- 8**成田国際空港関係 成田国際空港株式会社・本社ビル

・「社会人講話」の講師の方にお話しいただく内容

- ・現在の職業を選んだ理由
- ・この職業の楽しいこと、つらいこと
- ・仕事の内容
- ・その他 (仕事上のエピソードなど)

・生徒の質問例等

- ・小学校、中学校、または高校の頃はどのようにすごしていたか。
(どのような努力や苦勞をしたか。)
- ・今の仕事(職業)にどのようにして就いたのか。
- ・どのような仕事(内容)なのか。
- ・苦勞した(する)こと、いやなこと、うれしいこと、楽しいことは何か。
- ・話の中で印象に残ったこと。
- ・自分にとって参考になること。
- ・講師の生き方、考え方に興味や関心をもったこと。

(2).将来つきたい職業アンケート

社会人に聞く(職業アンケート)

組 番氏名

1. 将来つきたい職業があれば書いてください。

ない ある()

	ない	ある
人数	66	105
%	39	61

2. 話を聞いてみたい職業があれば書いてください。

ない ある()

	ない	ある
人数	74	97
%	43	57

3. 以下の職業で興味のある職業を2つ選んで記号を書いてください。

- ① 農業などの生産関係 (農業、畜産業、林業、水産業など)
- ② 開発技術などの研究関係 (研究開発など)
- ③ 建設、土木関係 (設計、施工、建築など)
- ④ 製造関係 (食品、機械、化学製品など)
- ⑤ コンピュータなどの情報関係 (プログラマー、ソフト開発など)
- ⑥ 病院関係 (医師、看護師、薬剤師など)
- ⑦ 福祉関係 (児童福祉、障害者福祉、老人福祉など)
- ⑧ 弁護士など法務関係 (裁判官、検察官、弁護士など)
- ⑨ 金融関係 (会計士、税理士、銀行員など)
- ⑩ 教育関係 (小学校、中学校、高校、大学など)
- ⑪ 新聞・本関係 (文芸家、翻訳家、記者、新聞配達など)
- ⑫ 旅館・ホテル・レストラン関係 (接客係・レストラン店長など)
- ⑬ 美術・デザイン関係 (画家・デザイナーなど)

延べ数	割合
2	0.6
10	3.1
9	2.8
6	1.8
38	11.7
22	6.7
6	1.8
11	3.4
5	1.5
15	4.6
8	2.5
13	4.0
22	6.7

⑭ 音楽・演劇関係 (俳優、演出家、プロデューサーなど)	20	6.1
⑮ 図書館・博物館関係 (図書館司書、学芸員など)	13	4.0
⑯ 運輸・郵政関係 (電車・バス・飛行機の運転士、郵便局員など)	5	1.5
⑰ 販売関係 (スーパー、百貨店など)	9	2.8
⑱ 理容・美容関係 (理容・美容など)	15	4.6
⑲ 自衛官・警察官・消防士関係 (自衛官・警察官・消防士など)	13	4.0
⑳ サービス関係 (旅行添乗員、広告宣伝など)	4	1.2
㉑ 調理関係 (日本料理、寿司、中華料理などの調理人など)	19	5.8
㉒ スポーツ関係 (バスケット選手、野球選手、サッカー選手など)	45	13.8
㉓ その他 具体的な職業 希望職業 ()	16	4.9
(動物関係5人、テレビ撮影、CA、漫画家、巫女、アナウンサー、ネットショップなど)		
	326	100

(3) 映像の活用

仕事ハッケン伝

時間 所要時間 50分

内容 出演者がそれぞれの職業に挑戦する番組です。

いろいろな壁にぶつかってやり遂げる番組です。

仕事の難しさをわかってもらえればいいと思います。

- | | |
|---------------|-------|
| 1 別府温泉ホテル | 篠山輝信 |
| 2 ウェディングプランナー | 虹川美穂子 |
| 3 食品スーパー | 小島よしお |
| 4 神戸 パン | 川村エミコ |
| 5 映画宣伝 | 中田敦彦 |
| 6 クリーニング店 | 磯山さやか |
| 7 市役所職員 | 村上健志 |
| 8 気象予報 | 堤下 敦 |
| 9 文具開発 | 満島真之介 |
| 11 引っ越し業 | 大野拓朗 |
| 12 渋谷 CD ショップ | 六角精児 |

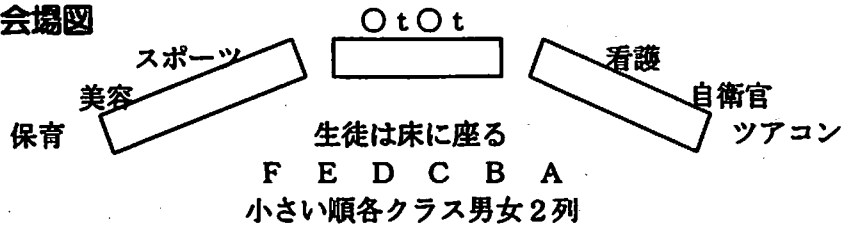
以上のような番組を見ることでいろいろな仕事の大変さややりがいを知る。

(4) 社会人に聞く会当日の流れ1

日時 ○月○日 (○) ○校時

会場 多目的ホール

・会場図



進路講演会当日の流れ

- ～ 13:10 講師到着
- 13:10 ～ 13:25 日程説明 (校長室)
- 13:30 ～ 14:50 説明会 (パネルディスカッション形式)
司会 ○〇t、○〇t
パネラー 6人予定
- 14:50 ～ 講師の先生移動
(全体の流れの例)

講師入場……………拍手で迎えてください

進行から…〇〇 (今日は6人の講師の方々に来ていただき、お話を伺います。しっかり話を聞きましょう。司会進行は〇〇先生と〇〇先生です。それでは…)

- ① まず講師の先生の紹介をします。経歴紹介 (司会) 自己紹介
- ② 仕事の内容 (業務に差し支えない範囲で) となぜその仕事についたのか。
- ③ 今までの苦勞や失敗、やりがい ←ここまでは一人一人聞いていく
- ④ 仕事上での責任とは ←ここからはランダムに聞く?
- ⑤ 職業人として大切なこと
- ⑥ これから仕事をしていく上での夢がありますか。
- ⑦ 中学生へのアドバイスは
- ⑧ 質疑応答 (事前の質問から選ぶ。又はその場で聞きたいことがあればOK)
- ⑨ その他 (当日、他の内容で伺うことがあれば)

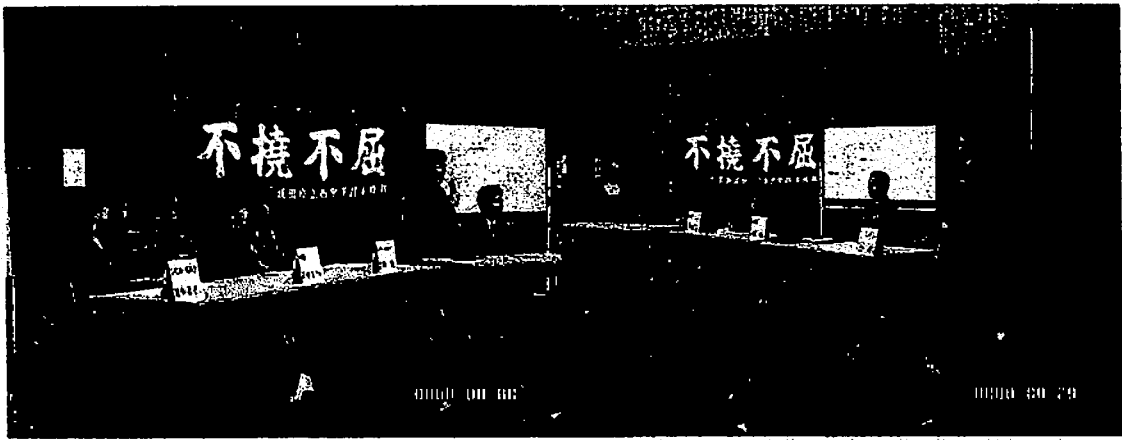
お礼の言葉…………… ()

講師退場…………… 拍手で見送る

- ・学校ではどんな教科が大切だと思いますか?
- ・今までであった人の中で自分の人生を変えたような人がいますか?
- ・今の中・高生のいいところは何であると考えますか?

など、アドリブの質問を考えて話題づくりをしてもいいと思います。

話をしてもらう順番はどなたからでもいいと思います。



(5) 社会人に聞く会当日の流れ 2

日程

講話①の教室へ移動

5分前着席、案内係は5分前に迎えに行く

- ・ 1:35 ~ 2:05 講話①質疑応答
- 2:05 ~ 2:15 ワークシートの記入
トイレ、講話②の教室へ移動
- 5分前着席、案内係は5分前に迎えに行く
- ・ 2:30 ~ 3:00 講話②質疑応答
- 3:00 ~ 3:10 ワークシートの記入



以上のような実践を通してやりがいのある職業を見つけることが大切であり、将来自分の人生設計の基礎となることを目標とする。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

・職業アンケートより

職業アンケートの「将来つきたい職業がある」61%より、生徒は何となくつきたい職業を考えている場合が多い。しかし、中学1年生で考える職業はスポーツ選手とか俳優、音楽関係やゲームのプログラマーなど実現には少し無理がある場合が多い。しかし、それらの夢に関係する職業を知る事で、夢の実現ができなくても関係する職業を選ぶことも考えられる。たとえば、野球選手などのスポーツ選手では一流選手も40歳頃で引退していく。今回来ていただいた千葉ジェッツ（プロバスケットチーム）の佐藤さんは33歳で引退した後にアンバサダーとして活躍している。このようなことを知る事により夢に向かってがんばれるだけでなく、次の人生についても考えることができる。

・仕事ハッケン伝のような番組の視聴より

今回「仕事ハッケン伝」のような番組を見ることにより、仕事のやりがいや大変さを知る事ができ、多くの生徒が興味関心を示した。また、多くの職業を知る機会ともなった。

・「社会人に聞く会」当日の会の流れより

パネラー形式の会の開催では自分の希望していない職業での仕事の内容ややりがいを知る機会となり、生徒が幅広い職業を知る機会となった。講座別の取り組みでは個々の説明が十分でき、より深くその職業を知る機会となった。39%の生徒はつきたい職業が決まっていないので、いろいろな仕事を知ることによって、将来の展望を考える機会になった。

(2) 課題

・アンケートの結果、希望が多い職業の講師がいいか、希望数の少ない職業の講師がいいか考えなければならない。

・講師は毎年その学年の担当の先生の知り合いなどをお願いする場合が多い。「教え子が弁護士をやっているのをお願いしたい」とか、「保育士を知っているの頼む」と言われることもある。千葉ジェッツにはメールで問い合わせ、直接交渉した。講師の確保はこの会を運営する中で一番大切なことである。講師の人材バンクのようなシステムがほしい。

・テレビ番組の活用について、NHKの番組で職業を扱っている番組は他にもあるが、多くの番組を見る機会を作る事が授業時間の関係で困難である。また、著作権の問題も考える必要がある。

・より多くの職業について興味を持ってもらえるように、パネル形式の会の運営では一人ひとりの仕事の説明が不充分になってしまう場合がある。特に司会者によって内容が左右するので進行の先生又は生徒が重要視される。

・多くの職業を知る機会を持ち、将来の自分の目標を考えることにより、これからの学習に生かし、学習の意欲化に結びつくことが課題となる。

・計画 → 実践・検討 → 修正・評価 → 改善・新たな展開 → 2学年へつながる学習を確立していく必要がある。

職場体験参考例

2 学年職場体験学習

基本となる考え方

なるべく実際の入社試験と同じようにしてみたい、そのためには自分がやってみたい職業と現実に自分が採用された職場に差があったほうがより現実的である。しかも採用される側も納得できるのではないのでしょうか。

9 月中に職場の割り振りをすませる。

流れ

9 月 掲示板に職場一覧を掲示 (1 週目) → 各担当者

↓

事業所 希望アンケート実施 (2 週目)

↓

ペーパーテスト、面接テスト (3 週目) (入社試験)

↓

結果を確認しながら割り振り (4 週目)

↓

10 月以降事業所別会議等を行う。

希望事業所は第五希望までとるが希望がない事業所が出てしまった場合、個別交渉で事業所を決めていく。その際、自分は嫌々いくという思いは持たせないようにする。

・ ペーパーテストについて

ペーパーテストは数学や国語の基礎力を問う問題にします。(担当者お任せ)

・ 面接試験について

就職試験で一番大切なのは面接です。面接試験ではこの職場をどうして選んだのか。何がしたいのか面接官にわかるように説明してもらいたいと思います。「お菓子や弁当が食べたい。」とか、「楽そうだから」、といった理由の生徒は希望の職種にはならないと考えてください。しっかりした理由を持って、面接試験にのぞんでください。

特に大切なこと

① この職場で体験したい熱意を伝えること。(希望理由を明確にいえること)

② 誠意を持った受け答えができること。(一生懸命のぞむ素直な姿勢)

③ 礼儀正しい服装・言葉遣いができること。(中学生らしいさわやかな印象)

自分が考えるほど面接試験は自分をよく評価してくれるとは限りません。「自分としてはよくできたのに」というのは通用しないことを理解してください。判断するのはあくまでも自分ではなく面接官であることを忘れてはいけません。

面接試験は3 学年での入学試験につながります。

